

2020年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の開催やそれに伴う予算執行で未達の部分があった。困難な状況の中、各事業で可能な最善の形を模索した結果、対予算 90.2%を遂行した。

1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

(1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件 計3億円を贈呈した。

(2) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件1,000万円30件 計3億円を贈呈した。

(3) ライフサイエンス研究助成は、生命科学分野（医学・歯学・薬学を除く）の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1件200万円42件 計8,400万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2017年度および2018年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円5件 計1,500万円を贈呈した。

(4) 医学系研究助成は、医学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円244件 計4億8,800万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）74件、精神・神経・脳領域50件、感染領域19件、基礎73件、臨床28件]

継続助成は、本研究助成の2017年度および2018年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円31件 計9,300万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）10件、精神・神経・脳領域6件、感染領域3件、基礎8件、臨床4件]

(5) 薬学系研究助成は、薬学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円42件 計8,400万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2017年度および2018年度被助成者を対象に公募を行

い、1件300万円 5件 計1,500万円を贈呈した。

(6) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究（学内または複数機関の融合研究）に対して、1件3,500万円～5,000万円 14件 計6億円を贈呈した。

(7) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1件200万円 32件 計6,400万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2017年度および2018年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1件500万円 9件 計4,500万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2017年度および2018年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1件1,000万円 5件 計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2017年度および2018年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1件3,000万円 1件 計3,000万円を贈呈した。

(8) 中学校・高等学校理科教育振興助成は、国内の中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1件30万円 70件 計2,100万円を贈呈した。（中学校22件、高等学校48件）

(9) 杏雨書屋研究助成は、杏雨書屋所蔵資料に関わる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件19万円～100万円 8件 計499万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は21億9,399万円（対前年度実績比50万円減）となった。

なお、2020年11月12日（木）に予定していた2020年度研究助成金贈呈式は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止した。

2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

(1) 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で留学生の大半が来日できなかった。7指定国より4名、その他の国より5名、計9名が来日した。2019年度までに来日済みの留学生の継続分を含めて留学助成金として総額4,193万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2021年3月末までに留学助成した外国人留学研究者の総数は45ヵ国から1,743名となった。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2021年3月31日現在〉

国 別	2020年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	1			1	7名承認、6名次年度繰越
タ イ	8				0	9名承認、9名次年度繰越
フィリピン	8	1			1	9名承認、8名次年度繰越
韓 国	5				0	3名承認、1名辞退、2名次年度繰越
中 国	10	1	1		2	10名承認、9名次年度繰越
インドネシア	8	0			0	9名承認、9名次年度繰越
ベトナム	6	0			0	3名承認、3名次年度繰越
7ヵ国 小計	51	3	1	0	4	
上記7ヵ国以外	10	5			5	12名承認、1名辞退、6名次年度繰越
総 計	61	8	1	0	9	

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定7大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者（各大学2名、計14名）に対し、奨学金（年間360万円、最大4年間）の支給を行う事業を実施しているが、2020年度は京都大学で応募者がなかったため、その枠を過去5年間の応募者が多かった東京大学と名古屋大学に各1名割り当てた。

2017年度から2019年度の奨学助成者36名および2020年10月から残り3ヶ月だけ復学した2013年度生1名と合わせて計51名に、総額1億8,090万円を奨学助成した。

なお、2020年5月28日（木）に予定していた第9回医学部博士課程奨学助成認定式は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で48名となった。

(3) 海外研究留学者に対する助成（海外研究留学助成）

2019年度より若手医師でかつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象とした海外研究留学助成事業を行っている。2019年度に海外に出立した10名のうち1名が1年4ヶ月で辞退したため、2020年度研究留学者10名と合わせて、渡航費込みで総額9,660万円を助成した。なお、2020年度研究留学者10名のうち1名は、新型コロナウイルス感染症の影響で海外出立が遅れており、2021年10月末出立の予定である。

また、2021年度の海外研究留学者について募集を行い、選考された10名の候補者について理事長が最終決定し、2021年2月16日（火）にオンラインで認定式を実施した。

海外研究留学助成で、累計で30名の研究留学者を採択した。

3. 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された15名の候補者について、9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2020年11月12日（木）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および副賞（1件2,000万円）をそれぞれ贈呈した。

一條 秀憲 博士

受賞時職名：東京大学 教授

研究題目：ストレス応答の分子機構解明に基づく創薬基盤の創成

宮脇 敦史 博士

受賞時職名：理化学研究所 チームリーダー

研究題目：革新的生命可視化技術の開発研究

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は下記 第21回 武田科学振興財団 生命科学シンポジウムを2021年1月29日（金）～30日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため2年後（2022年度）に延期した。

テーマ：“Towards Understanding Human Development and Evolution”

「ヒト発生と進化の理解に向けて」

組織委員長：斎藤 通紀（京都大学 教授）

組織委員：後藤 由季子（東京大学 教授）

終 卓志（欧州分子生物学研究所 グループリーダー）

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書等発刊）

2020年9月、杏雨書屋機関誌「杏雨」23号を発刊した。

また、2020年9月に『敦煌秘笈景教經典四種』を300部、2020年10月に『杏雨書屋蔵 積砂版大藏經目録 第九冊』を300部発刊した。

6. 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書等公開）

(1) 保管・管理

写真撮影 168,582 枚、複写製本 408 冊、補修 186 冊を行った。

(2) 公開

閲覧者は 41 名（閲覧図書 242 部、601 冊）、複写依頼は 26 名（複写部数 75 部、1,499 枚）、展示室見学者は 1,176 名（特別展示会を含む）であった。

<常設展示会>

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。（見学者 1,176 名）

<特別展示会>

(i) 春季：新型コロナウイルス感染症の影響のため秋季に延期した。

(ii) 秋季：10月12日（月）～23日（金）（18日（日）を除く）に「東アジアの養生書」をテーマに開催した。（見学者：195名）

(3) 研究講演会

第 43 回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2020 年 10 月 17 日（土）13：00～15：00

場 所：武田科学振興財団 5 階

演 題：「戦陣の養生訓—『砦艸』の世界」

演者：内山 直樹氏（千葉大学 教授）

演 題：「中国文人の養生法と養生書」

演者：三浦 國雄氏（大阪市立大学 名誉教授）

参加者：61 名

(4) 稀覯本購入

各務小木骨 一括

カウパー 人体解剖図説 ラテン語初版 1 点

椿庭随筆 1 点

古方類按 3 点

学晦堂医話 2 点

瘍科広要 卷之一 1 点

内科闡微私評 1 点

結髦居別集 卷三・四 1 点

医範提綱内象銅版図 1 点

病草紙 1 点

オスカンプ等編 薬用植物図譜 蘭訳版初版 全 6 点

丸龜尾池家所藏医学関係史料 10点

矢数家所藏医学関係資料 54点

敦煌莫高窟秘本一神論殘卷 1点

以上

事業報告附属明細書

別表(1) 2020 年度研究助成事業概要

別表(2) 2020 年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2020 年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2020 年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2020 年度海外研究留学者明細

2020年度 研究助成 概要

武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究へ助成
(1件 3,000万円 10件)

生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる
独創的な研究へ助成 (1件 1,000万円 30件)

ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、
人類の健康増進に寄与する独創的な研究へ助成 (1件 200万円 42件)

ライフサイエンス研究継続助成

2017年度および2018年度のライフサイエンス研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成
(1件 300万円 5件)

医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究へ助成
(1件 200万円 244件)

医学系研究継続助成

2017年度および2018年度の医学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件 300万円 31件)

薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究へ助成
(1件 200万円 42件)

薬学系研究継続助成

2017年度および2018年度の薬学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件 300万円 5件)

特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究(学内または複数機関
の融合研究)へ助成 (1件 3,500~5,000万円 14件)

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究へ助成
(1件 200万円 32件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2017年度および2018年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究へ継続助成
(1件 500万円 10件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2017年度および2018年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(1件 1,000万円 5件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2017年度および2018年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(1件 3,000万円 1件)

中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高
等学校の理科教育に貢献する研究または実践へ助成 (1件 30万円 70件)

杏雨書屋研究助成

日本在住の研究者を対象に杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究へ助成 (1件 19~100万円 8件)

2020 年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
家田 真樹	筑波大学 医学医療系 循環器内科	教授	細胞運命転換技術を用いた革新的心不全治療法の開発
魏 范研	東北大学 加齢医学研究所 モドミクス医学分野	教授	RNA モドミクスに基づく新規核酸医学の確立
上野 英樹	京都大学 大学院医学研究科 免疫細胞生物学	教授	シングルセル遺伝子解析とトポジカルデータ解析の融合によるヒトがん微小組織での動的 T 細胞免疫応答システムの解析
大石 由美子	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)	教授	細胞間相互作用と多様性による「免疫-代謝-再生」連携の分子機構の解明
七田 崇	東京都医学総合研究所 脳卒中ルネサンスプロジェクト	プロジェクト リーダー	脳卒中後の神経修復を維持させる脳機能回復薬の開発
高橋 秀尚	横浜国立大学 大学院医学研究科 分子生物学分野	教授	Med26 による遺伝子発現制御機構とその破綻による疾患発症メカニズムの解明
野田 展生	微生物化学研究会 微生物化学研究所 構造生物学研究部	部長	オートファジーの作動原理の解明
藤本 明洋	東京大学 大学院医学系研究科	教授	未知の遺伝的多様性/変異の検出と転写産物の全長解析および機能的意義の解明
保仙 直毅	大阪大学 大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学	教授	血液がんに対する新規 CAR T 細胞療法の開発
山口 良文	北海道大学 低温科学研究所	教授	哺乳類の冬眠メカニズムの分子基盤の探求

計 10 件

生命科学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
雨森 賢一	京都大学 霊長類研究所 統合脳システム分野	特定准教授	不安障害の制御を目指した霊長類大脳基底核回路の機能解明
Alev Cantas	京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) アレヴ研究室	准教授	正常発生および疾患におけるヒト分節時計の分子解析
一戸 猛志	東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター ウイルス学分野	独立准教授	外気温がインフルエンザウイルスの病原性に与える影響の解析
稲木 美紀子	大阪大学 大学院理学研究科 生物科学専攻 細胞生物学研究室	助教	上皮細胞が運動能と浸潤能を独立に獲得する機構の解明
宇野 健司	帝京大学 医学部 内科学講座 内分泌代謝・糖尿病内科	准教授	肝臓における代謝領域選択性の制御機構と臓器連携を司る分子機序の解明
荻 朋男	名古屋大学 環境医学研究所 発生・遺伝分野	教授	遺伝子転写領域に生じた DNA 損傷の修復と転写再開の分子メカニズム

氏名	所属機関	職位	研究題目
垣内 伸之	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学講座	助教	胆管上皮細胞のゲノム解析による原発性硬化性胆管炎の病態と発がん機序の解明
勝 義直	北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門 生殖発生生物学分野	教授	脊椎動物の進化に伴うステロイドホルモン受容体による内分泌制御システム確立の分子機構解明
神谷 厚範	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科(医) 細胞生理学分野	教授	がん組織に分布する神経を操作してがん進展を抑制する、がん神経医療の開発
川辺 浩志	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 老化機構研究部	特任上席 研究員	樹状突起スパイン内ナノドメインでのユビキチン化によるスパイン形成とスパイン形態の新しい制御機構の解明
齋藤 義正	慶應義塾大学 薬学部 薬物治療学講座	准教授	胆道・膵臓がんオルガノイドを用いたドラッグ・リポジショニングによる新規治療薬の創製
酒井 達也	新潟大学 理学部 理学科生物学プログラム	教授	植物の光屈性誘導機構の解明
佐々木 純子	東京医科歯科大学 難治疾患研究所・病態生理化学 分野	准教授	卵巣の性維持におけるイノシトールリン脂質の重要性
篠原 美紀	近畿大学 大学院農学研究科 バイオサイエンス専攻 分子生物学研究室	教授	分裂期染色体特異的な DNA 損傷修復抑制と自然免疫応答の連携メカニズムの解明
征矢野 敬	基礎生物学研究所 共生システム研究部門	准教授	マメ科植物の窒素固定器官における細胞内共生機構の解明
高橋 和利	京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門	特定拠点 准教授	非標準的翻訳に着目した新しいバイオロジーにより細胞の運命決定機構に迫る
竹内 春樹	東京大学 大学院薬学系研究科 化学物質 安全性評価システム構築	特任准教授	活動に依存した神経回路形成の基本原理の解明
竹内 秀明	東北大学 大学院生命科学研究所 脳生命統御科学専攻 分子行動分野	教授	社会脳ネットワークの全容解明 ～シングルセルトランスクリプトーム解析による高解像度機能地図の作成～
立石 敬介	東京大学 大学院医学系研究科 消化器内科学	講師	3D ゲノム構造に基づく細胞系譜解析とその応用
田中 知明	千葉大学 大学院医学研究院 分子病態解析学	教授	ミトコンドリア複合体機能制御機構とインスリン標的臓器におけるその機能的役割
中瀬 生彦	大阪府立大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 細胞機能制御化学	准教授	乳がん分泌小胞の亜鉛トランスポーター細胞間移植と化学制御
西頭 英起	宮崎大学 医学部 機能生化学分野	教授	褐色脂肪細胞におけるミトコンドリア品質管理機構の解明
西野 邦彦	大阪大学 産業科学研究所 (薬学部・薬学研究科兼任)	教授	細菌恒常性維持における薬剤排出ポンプの生理的役割の解明
原 英樹	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室	特任准教授	インフラマソームを介した炎症病態形成機序の解明と制御法の開発
松本 佳則	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学、 リウマチ膠原病内科	助教兼 診療副科長	酵素に着目した敗血症の病態解明と新規治療法開発
三枝 理博	金沢大学 医薬保健研究域・医学系・統合 神経生理学	教授	体内時計・睡眠覚醒システムの統合的理解と疾患への応用

氏名	所属機関	職位	研究題目
宮崎 智之	横浜市立大学 医学部 生理学	准教授	治療抵抗性うつ病に対するケタミン治療効果発現の神経基盤の解明：AMPA 受容体 PET 薬剤を用いたプラセボ対照二重盲検無作為化比較試験
森田 美代 (寺尾)	基礎生物学研究所 植物環境応答研究部門	教授	植物重力屈性における重力センシング機構の解明
横山 顕礼	京都大学 医学部附属病院 腫瘍内科	特定助教	食道がんの起源解析から早期診断法への応用
吉澤 達也	熊本大学 大学院生命科学研究所 病態生化学講座	准教授	新規のタンパク質脂質修飾による代謝制御機構の解明

計 30 件

ライフサイエンス研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
網田 英敏	京都大学 霊長類研究所 統合脳システム 分野	特定助教	光遺伝学的手法によるパーキンソン病新規治療法の開発
雨宮 誠一郎	理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経回路・行動生理学研究チーム	研究員	意思決定戦略を制御する神経基盤の解明
池内 桃子	新潟大学 理学部 生物学プログラム 池内研究室	准教授	植物の再生しやすさを決める分子基盤の解明
磯野 真由	名古屋大学 環境医学研究所 発生・遺伝分野	特任助教	転写領域に生じた DNA 二本鎖切断における修復機構の解明
伊藤 尚基	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 老化機構研究部	研究員	加齢マウス特異的に認められる“異常な筋線維”の解析を元にしたサルコペニアに対する治療法・予防法・診断マーカーの開発
稲葉 靖子	宮崎大学 農学部・植物生産環境科学科・ 花き生理学研究室	准教授	植物の代謝的熱産生－花の香気成分の合成・飛散の強化に向けた基盤研究－
今村 壮輔	東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 田中・今村研究室	准教授	藻類グリコーゲン蓄積制御の解明からラフォラ病治療に向けて
入江 直樹	東京大学 理学系研究科 生物科学専攻 動物発生学教室	准教授	妊娠期に移入する母由来・非自己細胞の胎仔における細胞種と分布解明
植村 知博	お茶の水女子大学 理学部 生物学科	准教授	植物トランスゴルジ網 (TGN) の構造とサイズの制御機構
梅田 達也	国立精神・神経医療研究セン ター神経研究所 モデル動物開発研究部	室長	中枢・末梢神経系の統合的解析による随意運動制御の神経機構の解明
王 丹	京都大学 高等研究院 物質－細胞統合システム拠点	特定拠点 准教授	思春期～若年期の環境依存的な脳発達における RNA メチル化修飾の役割
大崎 達哉	東京大学 生産技術研究所 物質・環境系部門 池内研究室	特任助教	iPS 免疫細胞と脳オルガノイド技術を用いた自己免疫性てんかんの病理解明
岡村 秀紀	東北大学 多元物質科学研究所 生命機能分子合成化学研究分野	助教	RNA 分子を標的とした化学修飾アプタマー探索法の開発
神谷 厚輝	群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門 生命分子機能化学研究室	助教	真核細胞におけるリン脂質非対称膜形成の意義とその応用

氏名	所属機関	職位	研究題目
河野 風雲	東京大学 大学院総合文化研究科 佐藤守俊研究室	助教	インタクティブなゲノム DNA への条件付き遺伝子ノック イン法および遺伝子ノックアウト法の開発
木村 健二	関西学院大学 理工学部 生命科学科 器官形成学研究室	講師	Oocyte-to-embryo transition におけるモータータン パク質の時間的制御メカニズムとその意義の解明
小沼 剛	横浜市立大学 大学院生命医科学研究科 構造エピゲノム科学研究室	助教	がん細胞における c-Myc の液-液相分離による異常な 転写制御機構の解明
小林 優介	茨城大学 大学院理工学研究科 生物科学領域	テニユア トラック 助教	オルガネラゲノムの母性遺伝を制御する新奇機構の解 明
坂本 卓也	東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 松永研究室	助教	植物におけるセントロメア配置の生物学的意義の探索
坂本 雅行	東京大学 大学院医学系研究科・ 神経生化学分野	助教	合理的デザインに基づく電位センサーの設計とシナプ ス電位の可視化
佐藤 慎哉	京都大学 大学院生命科学研究科 高次生命 科学専攻 システム生物学講座 生体制御学分野	助教	網膜の各細胞に特有の代謝調節を蛍光ライブイメージ ングで描出する
篠原 秀文	名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 細胞間シグナル研究部門	講師	基部植物を対象としたペプチドホルモン受容体ペア を介した情報伝達系の起源解明
新中須 亮	大阪大学 免疫学フロンティア研究セン ター 分化制御研究室	特任助教 (常勤)	変異インフルエンザウイルス感染防御に有効な記憶 B 細胞活性化機構の解明
添田 義行	学習院大学 理学部生命科学科/大学院自然 科学研究科生命科学専攻 高島研究室	助教	認知症治療のためのタウ機能喪失を標的としたタンパ ク質間相互作用 (PPI) 創薬
曾我部 隆彰	自然科学研究機構 生命創成探究センター 温度生物学研究グループ	准教授	脂質の生理機能から解き明かす温度受容の分子メカニ ズム
高岡 勝吉	徳島大学 先端酵素学研究所 発生生物学分野	准教授	マウス初期胚発生における母体の役割とその加齢によ る破綻
高田 匠	京都大学 複合原子力科学研究所 放射線生命科学研究部門 基礎老化研究部門	特定准教授	生体内ホモキラリティ破綻を新しい老化指標とする研 究
竹立 新人	福岡大学 理学部 化学科 機能生物化学研究室	助教	DNA ヘリカーゼ RTEL1 複合体を介したミトコンドリア DNA 修復機構の解明
戸田 聡	金沢大学 新学術創成研究機構 ナノ生命科学研究所	助教	細胞の形態・運動の操作を実現する人工受容体システ ムの開発
中台 枝里子	大阪市立大学 大学院生活科学研究科 食・健康科学講座	教授	宿主の腸炎症を抑制する分散接着性大腸菌の作用メカ ニズム解明とヒト糞便からの同定法確立
難波 卓司	高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門	准教授	生活ストレスが小胞体-ミトコンドリア接触領域にお ける情報交換機構の破綻と細胞老化を引き起こすメカ ニズムの解析
西村 隆史	理化学研究所 生命機能科学研究センター 形態形成シグナル研究チーム	上級研究員	成熟期進行に伴う代謝リモデリングを駆動する分子基 盤の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
蛭川 暁	京都大学 大学院理学研究科 生物科学専攻 生物物理学教室 ゲノム情報発現分科	特定助教	N 型糖鎖依存小胞体関連分解経路に関わるマンノース 切除酵素全 4 種の試験管内活性比較解析
藤田 生水	理化学研究所 生命機能科学研究センター 非対称細胞分裂研究チーム	研究員	脳室帯外神経幹細胞を人工誘導したマウスにおける小 頭症の研究
古郡 麻子	大阪大学 蛋白質研究所 ゲノム-染色体機能研究室	准教授	ヒト MRN 複合体を中心とした相同組換え開始機構の 解明
堀江 健生	筑波大学 生命環境系 下田臨海実験センター 神経生理学分野	助 教	遺伝子発現のタイミングを制御する分子機構の解明
三橋 弘明	東海大学 工学部 生命化学科	准教授	核膜病におけるオートファジーの生理的意義の解明
村木 則文	自然科学研究機構 生命創成探究センター 金属生命科学グループ	助 教	一酸化炭素の生合成を鍵反応とする金属酵素ヒドロゲ ナーゼの活性中心構築反応
森田 能次	中央大学 理工学部 応用化学科 生命分子化学研究室	助 教	赤血球と同等の高い酸素輸送能をもつ人工酸素運搬体 の合成
山崎 智弘	北海道大学 遺伝子病制御研究所 RNA 生体機能分野	講 師	理論と構成的アプローチによる RNA が誘導する相分 離構造体形成機構の解明
山下 征輔	東京大学 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 RNA 生物学分野	助 教	ヒト TUT1 による RNA ポリウリジル化の分子構造基 盤
渡部 聡	東北大学 多元物質科学研究所 生体分子構造研究分野	助 教	ニッケル酵素活性中心生合成システムの多様性と分子 基盤の解明

計 42 件

ライフサイエンス研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
飯島 崇利	東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域	独立准教授	神経回路形成をプログラムする生命情報多様性の解読 と機能の解明
久原 篤	甲南大学 理工学部 生物学科 生体調節学研究室	教 授	体の温度馴化における KQT 型カリウムチャネルの役 割
鳴 直樹	産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 最先端バイオ技術探求グループ	主任研究員	原始ユビキチンによるタンパク質の翻訳後修飾
竹花 佑介	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科	准教授	メダカ属における性決定遺伝子多様化メカニズムの解 明
廣田 毅	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命 分子研究所	特任准教授	概日時計タンパク質 CRY による細胞内シグナル伝達 経路の制御

計 5 件

医学系研究助成

<がん領域（基礎）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
浅野 尚文	慶應義塾大学 医学部 整形外科教室	助教	脱分化型脂肪肉腫に対するゲノム・エピゲノム解析
伊藤 剛	秋田大学 大学院医学系研究科 医学専攻 分子生化学講座	助教	癌の悪性化につながる間質細胞の細胞間マルチプル・ネットワークの創生と解析
稲野 将二郎	田附興風会 医学研究所北野病院 血液内科（医学研究所 北野カ デット研究員）	副部長	ユビキチン化酵素融合 nanobody から創り出す、新しい細胞内分子標的治療
上田 智朗	大阪大学 医学部附属病院 血液・腫瘍内科	医員	白血病幹細胞のゆらぎと不均一性の制御による新規急性骨髄性白血病治療法の開発
上野 瞳	国立成育医療研究センター 研究所 小児血液・腫瘍研究部	上級研究員	BCOR-ITD ゲノム編集細胞の解析～BCOR-ITD 陽性腫瘍の発症機序の解明を目指して～
大川 祐樹	大阪国際がんセンター研究所 糖鎖オンコロジー部	研究員	バイセクト(分岐型)糖鎖による低グルコース誘導性がん幹細胞の抑制機構
大塩 貴子	北海道大学 遺伝子病制御研究所 がん制御学分野	助教	膵がんでリポフラビン経路が調節する代謝経路とその分子機序の同定
岡田 宣宏	岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学 研究科 ナノバイオシステム分子設計学	助教	乳がんの内分泌療法抵抗性獲得機構における NFYA の機能解明
加藤 真吾	横浜市立大学 医学部大学院 肝胆膵消化器病学教室	講師	AMPA 受容体シグナル伝達系に着目した新規膵癌治療法の開発
河合 隆之	京都大学 大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科学講座	客員研究員	癌幹細胞を標的とした keratin 19 陽性肝細胞癌に対する新規治療法の開発
木田 潤一郎	香川大学 医学部附属病院 輸血部	助教	TLR 経路と樹状細胞を標的とした骨髄異形成症候群の病態解明および新規治療の開発
北嶋 俊輔	がん研究会がん研究所 細胞生物部	研究員	KRAS/LKB1 変異型肺がんが示す免疫チェックポイント阻害薬治療耐性の克服
北嶋 洋志	札幌医科大学 医学部 医学科 分子生物学講座	助教	新規胃がん関連長鎖 non-coding RNA によるストレス顆粒形成と腫瘍形成メカニズムの解明
國吉 佳奈子	大阪大学 免疫学フロンティア研究セン ター 自然免疫分野	特任助教	腫瘍増殖抑制における新規遺伝子と腫瘍疾患特異的マクロファージの機能解析
香崎 正宙	産業医科大学 産業生態科学研究所・ 放射線衛生管理学	学内講師	DNA 修復活性化特性を標的とした革新的抗がん剤の開発
小関 準	名古屋大学 医学部 システム生物学分野	特任准教授	野生型及び任意の変異型 P53 タンパク質が任意配列の DNA を認識・結合する効率を予測するシステムの確立
小山 大輔	自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部	講師	白血病幹細胞形成の新たなメカニズムの解明 -LSD1 による代謝リプログラミング-
西塔 拓郎	大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部	助教	胃癌所属リンパ節の空間的位置に注目した抗腫瘍リンパ球活性化・抑制化機構の解明
佐々木 由香	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 分子標的医学分野	特任研究員	PARG 阻害剤開発のための PARG と DUSP22 機能阻害条件下における合成致死誘導機序の解析
佐藤 崇	慶應義塾大学 医学部 呼吸器内科	共同研究員	肺がんのフェノタイプを規定する分化プログラムの不均一性・可塑性の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
杉本 幸太郎	福島県立医科大学 医学部 基礎病理学講座	講師	細胞接着－核内受容体経路による乳癌の悪性形質増強機構
清島 亮	慶應義塾大学 医学部 一般・消化器外科	助教	大腸癌肝転移時の癌関連線維芽細胞出現メカニズムに関する研究
仙石 徹	横浜市立大学 医学部 生化学教室	講師	酸化応答と発がん重要な役割を果たす転写因子 Nrf2 の阻害剤開発
孫 略	産業技術総合研究所 健康工学研究部門 生体材料研究グループ	研究員	無機材料と放射線を組み合わせた複合がん免疫治療の開発
高木 秀明	宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座 免疫学分野	医学部 准教授	形質細胞様樹状細胞に発現する新規免疫チェックポイント分子によるがん免疫制御機構の解明
瀧田 守親	東京女子医科大学 医学部 薬理学教室	助教	がんの増殖と全身性転移におけるレクチン様酸化 LDL 受容体-1 と Pellino-1 の役割
田中 愛	信州大学 医学部 循環病態学教室	博士研究員	アドレノメデュリン-RAMP2、3系による癌転移制御機構の解明と応用展開
谷上 賢瑞	東京大学 アイソトープ総合センター	特任助教	長鎖 ncRNA によるプロテアソーム制御を介した p53 依存的な腫瘍形成能維持機構
中奥 敬史	国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野	研究員	クリニカルシーケンスから見出されるキナーゼ遺伝子バリエーションに対する分子動力学シミュレーションを用いた新規創薬システムの構築
中西 祐貴	京都大学 医学研究科・消化器内科学 (地域医療システム学兼任)	特定助教	大腸がん幹細胞の免疫原性を標的としたハイブリッドがん免疫療法の基礎的検討
錦井 秀和	筑波大学 医学医療系 血液内科	准教授	急性骨髄性白血病における造血環境リモデリングを介した腫瘍進展メカニズムの解明
原 敏文	愛知学院大学 薬学部 医療薬学科 生体機能化学講座	助教	癌転移マウスモデルを用いた in vivo スクリーニングによる癌転移機能分子の同定
日野原 邦彦	名古屋大学 大学院医学系研究科 5D 細胞 ダイナミクス研究センター	特任准教授	がん組織に浸潤する T 細胞の多様性解析
藤原 弘明	朝日生命成人病研究所 消化器内科	主任研究員	IDH 変異陽性肝内胆管癌の発癌メカニズムの解明
細井 裕樹	和歌山県立医科大学 血液内科	助教	悪性リンパ腫における microRNA と super-enhancer に着目した PVT1 の役割解明
宮野 佳	川崎医科大学 生化学	助教	がん抑制を目指した内皮細胞レドックスカスケード調節機構の解明
村上 和弘	金沢大学 がん進展制御研究所 上皮幹細胞研究分野	助教	胃がん幹細胞に特異的な分子機構の解明と効果的な治療法の探索
森嶋 達也	熊本大学 国際先端医学研究機構 造血幹細胞工学寄附講座	特任助教	細胞膜流動性を標的とした IDH 変異白血病治療法の開発
森田 強	和歌山県立医科大学 教養医学教育大講座 生物学教室	講師	がん転移過程における Ac-SDKP の機能解析とその応用
諸石 寿朗	熊本大学 大学院生命科学研究部 シグナル・代謝医学講座	教授	Hippo 経路によって誘導される腫瘍随伴細胞の変化とがん免疫の関連解析
安水 洋太	慶應義塾大学 医学部 泌尿器科学教室	助教	神経内分泌前立腺癌の層別化による新規治療戦略の確立
渡辺 崇	藤田医科大学 医学部・生化学講座	講師	がん幹細胞を制御するリン酸化シグナルの解明と病理診断マーカーの探索
渡部 昌	北海道大学 大学院医学研究院 生化学分野 医化学教室	講師	がんドライバー遺伝子として機能するユビキチンリガーゼの網羅的な基質探索

計 43 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
飯間 麻美	京都大学 医学部附属病院 臨床研究総合センター	助教	非造影 MRI による新たな乳がん診断技術の確立
池永 直樹	九州大学 医学研究院 臨床・腫瘍外科	助教	幹細胞に着目した幹細胞免疫抑制性微小環境の解明と新規幹細胞治療法の開発
石井 雅之	札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科	助教	T1 大腸癌のリンパ節転移検出のための ctDNA を用いた前向き観察研究
伊藤 心二	九州大学 大学院消化器・総合外科 (第二外科)	併任講師	肝細胞癌におけるフェロトシスに着目した癌免疫回避機構・薬物耐性獲得の機序解明と治療法の開発
岩槻 政晃	熊本大学 大学院生命科学研究部 消化器外科学	助教	胃癌における治療誘発細胞老化 (therapy-induced senescence) を応用した新規免疫チェックポイント NKG2A/HLA-E 阻害剤併用の有用性
大岡 史治	名古屋大学 大学院医学系研究科 脳神経外科	助教	悪性脳腫瘍のオルガノイドモデルを用いた新規エピゲノム治療の探索
大島 健司	大阪大学 医学系研究科 病態病理学講座	助教	大腸癌の代謝における D-glutamate cyclase の機能解明
大嶋 宏一	埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科	医長	再発リスク因子としての急性白血病における前白血病クローンの起源の解明
大場 哲郎	山梨大学 整形外科	助教	遠隔転移における血管内肉腫細胞と血小板の相互作用解析と新規治療薬開発
岡田 啓五	東京医科歯科大学 血液内科	助教	特異性・安全性を増した次世代型 CAR-T 療法の開発
奥川 喜永	三重大学 ゲノム診療部 ゲノム診療科	講師	Epigenetic drift の概念を利用した潰瘍性大腸炎関連大腸癌診断エピゲノムバイオマーカーの開発
川島 直実	名古屋大学 医学部附属病院 血液内科	助教	Single-cell 標識 AML-PDX モデルを用いた治療抵抗性 AML クローン選択機構の解明と新規治療標的の探索
佐々木 奈津子	産業医科大学 皮膚科学教室	助教	皮膚悪性腫瘍における CADM1 (Cell adhesion molecule 1) /TSLC1 (tumor suppressor in lung cancer 1) の発現と治療へ応用の可能性
佐藤 晋彰	九州がんセンター 頭頸科	フェロー	頭頸部扁平上皮癌の浸潤及び転移に寄与する YAP1 を介した転写リプログラミング機構の解明
佐藤 慎哉	神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん分子病態学部	医長	骨髄脂肪細胞分泌因子を介した骨転移がん生存・増殖メカニズムの解明
柴 徳生	横浜市立大学 小児科	講師	小児急性骨髄性白血病における Epigenetics 制御メカニズムの解明
杉本 真也	慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念講座 (オルガノイド医学)	助教	印環細胞がんの腫瘍内不均一性発生メカニズムの解明
鈴木 修平	山形大学 医学部附属病院 腫瘍内科	助教	腫瘍内 neurotransmitter の役割解明と治療開発
鈴木 敏夫	筑波大学 医学医療系 臨床腫瘍学	講師	線維化肺におけるがん細胞-がん幹細胞のリプログラミング誘導の解明
高橋 秀和	大阪大学 大学院医学系研究科 消化器外科学講座 II	助教	大腸癌治療に資する分解剤開発を基軸とした新たな p53 活性化機構の解明
立川 章太郎	大阪大学 大学院医学系研究科 放射線治療学教室	医員	Clonal hematopoiesis による腫瘍微小環境の変化と放射線抵抗性
田中 美幸	信州大学 医学部附属病院 小児科	講師	CAR-T 細胞シーズの実用化を加速させる製造・品質管理・医師主導治験のためのオールインワン型アカデミア GMP 体制の基盤構築
田村 亮	新潟大学 医学部 産科婦人科	助教	XCL1 発現に着目した卵巣成熟嚢胞性奇形腫悪性転化症例に対する新規治療戦略の構築

氏名	所属機関	職位	研究題目
塚本 善之	大分大学 医学部 分子病理学講座	助教	細胞障害性抗がん剤の感受性予測バイオマーカーの探索と耐性化メカニズムの解明
豊川 剛二	九州医療センター 呼吸器外科	医師	次世代プロテオミクス「iMPAQT」法を用いた小細胞肺癌における新規治療標的の同定
仲宗根 秀樹	自治医科大学 附属さいたま医療センター 総合医学 1 血液科	講師	G-CSF 動員ドナー末梢血幹細胞中の遺伝子発現プロファイルと移植後抗腫瘍効果
福山 隆	北里研究所 北里大学メディカルセンター 研究センター	上級研究員	前がん細胞からのメッセージ「KK-LC-1」を活用して発がんを予知する。
丸 喜明	千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部	研究員	子宮頸部腺癌に対する患者由来オルガノイドを用いた治療戦略の構築
三木 友一郎	大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器外科学	病院講師	胃癌に対する Hippo signalling pathway をターゲットとした治療開発
三宅 慧輔	熊本大学 国際先端医学研究機構 消化器がん生物学	リサーチ スペシャリスト	画像解析技術を応用した腫瘍免疫システムの定量化と意義解明
三宅 牧人	奈良県立医科大学 泌尿器科学教室	助教	前立腺組織内および腸内微生物に着目した前立腺癌の一次・二次予防法確立のための基盤研究

計 31 件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
上田 奈津実 (石原)	名古屋大学 理学研究科 生命理学専攻 細胞制御学グループ	講師	記憶固定化における活動依存的な細胞小器官の構造変化と分子基盤の解明
井口 善生	福島県立医科大学 医学部附属生体情報伝達研究所・ 生体機能研究部門	助教	目標指向的に行動するための意欲の制御において大脳半球間を横断するドーパミン投射系が果たす役割の解明
乾 賢	北海道大学 大学院歯学研究院 口腔機能学分野 口腔生理学教室	准教授	神経性食欲不振症の中樞神経機序の解明
稲生 大輔	金沢大学 医薬保健研究域医学系 組織細胞学教室	助教	多様な神経伝達物質のリアルタイム計測を実現する蛍光センサーカタログの開発
岡本 麻友美	名古屋大学 大学院医学系研究科 細胞生物学	日本学術振興会 特別研究員 (RPD)	大脳発生過程におけるメカノチャネルの役割の解明
尾崎 智也	名古屋大学 大学院医学系研究科 生物化学講座 分子生物学	特任助教	既存薬のコンドロイチン硫酸結合ペプチドは脊髄損傷を治療する
角田 伸人	同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 神経病理	助教	A β による液-液相分離形成の機序解明
加瀬 義高	慶應義塾大学 医学部 生理学教室	助教	p38MAPK の発現と活性制御を介した高齢外傷性脳損傷モデルの再生治療研究
加藤 大輔	名古屋大学 大学院医学系研究科 機能形態学講座 分子細胞学	助教	髄鞘化の光制御による認知症病態解明
金澤 雅人	新潟大学 脳研究所 神経内科分野	准教授	亜急性期脳梗塞に対する末梢血単核球療法の作用機序の解明
金蔵 孝介	東京医科大学 分子病理学分野	講師	低分子化合物による ALS 原因蛋白 TDP43 の液液相分離制御技術の開発と液液相分離による神経変性機構の解明
河野 麻実	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 分子細胞機能学	特任講師	神経成長・再生を制御する成長円錐イノシトールリン脂質制御機構
川鍋 陽	香川大学 医学部 分子生理学講座	講師	細胞興奮性を担うイオンチャネルにおけるイノシトールリン脂質の役割の理解

氏名	所属機関	職位	研究題目
桐山 敬生	奈良県立医科大学 脳神経内科学講座	講師	パーキンソン病の生体リズム障害が非運動症状および病期進行に及ぼす影響
草苺 伸也	東京医科大学 医学部 薬理学分野	助教	ミトコンドリアストレス応答異常と ALS/FTD 発症との関連解明
國松 淳	筑波大学 医学医療系 生命医科学域 認知行動神経科学	助教	無意識下での迅速な意思決定を可能にする脳内メカニズム
倉重 毅志	呉医療センター・中国がんセンター 臨床研究部	脳神経内科 医師	筋萎縮性側索硬化症早期診断バイオマーカーとしての生検病理診断法の開発
兒玉 祥	広島大学 大学院医系科学研究科 整形外科	助教	末梢神経再生に適したカーボンナノチューブの物理的・化学的特性の解明
小林 篤史	北海道大学 大学院獣医学研究院 比較病理学教室	准教授	プリオン感染リスクの網羅的解析
近藤 誠	大阪大学 大学院医学系研究科 神経細胞生物学講座	准教授	運動による抗うつ効果の分子機序に着目したうつ病の新規治療薬開発
嶋田 逸誠	名古屋市立大学 大学院医学研究科 細胞生化学分野	講師	転写因子 PRDM16 による脳オルガノイド神経幹細胞運命決定制御機構の解析
新明 洋平	金沢大学 医薬保健研究域医学系・ 脳神経医学研究分野	准教授	軸索ガイダンスを切り口とした大脳皮質形成機構の解明
鈴掛 雅美	東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究分野 認知症プロジェクト	主任研究員	神経変性疾患早期病態モデルマウスを用いた診断マーカーの探索
鈴木 直輝	東北大学 医学系研究科 神経内科学教室	非常勤講師	筋萎縮性側索硬化症の軸索病態の分子機構の解明
関谷 倫子	国立長寿医療研究センター アルツハイマー病研究部 発症機序解析研究室	室長	アミロイド前駆体タンパク質によるシステミックな寿命と老化の制御
素輪 善弘	京都府立医科大学 形成外科	講師	アデノ随伴ウイルスベクターを用いた in vivo reprogramming による新規脊髄損傷治療法の開発
高柳 友紀	自治医科大学 医学部 生理学講座 神経脳生理学部門	講師	幼少期社会的親和行動によるレジリエンス強化の神経基盤解明
武内 敏秀	大阪大学 医学系研究科 神経難病認知症 探索治療学寄附講座	寄附講座 講師	脳移行性キャリアを用いた中分子の脳内送達法の開発
多田 敬典	国立長寿医療研究センター 統合加齢神経科学研究部 神経内分泌学	室長	加齢性 CORT 概日リズム消失に伴う前頭前野シナプス再構成経路の制御破綻によるアルツハイマー型認知症易感性出現メカニズムの解明
田中 慎吾	新潟大学 医学部 医学科 神経生理学教室	助教	脳内他者シミュレーションを利用した適応的行動選択を実現する脳内ネットワークの解明とその操作
津山 淳	東京都医学総合研究所 生体分子先端研究分野 脳卒中ルネサンスプロジェクト	研究員	脳卒中後の機能回復に向けた修復性ミクログリアの分化・維持機構の解明
中島 健一朗	生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門	准教授	肥満が脳内の味覚調節機構に及ぼす影響の検証
中島 振一郎	慶應義塾大学 医学部 精神神経科	助教	統合失調症の治療反応性のニューロメラニン・グルタミン酸による判別-マルチモーダル MRI 研究
夏堀 晃世	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 睡眠プロジェクト	主席研究員	セロトニン神経のエネルギー代謝調節機能の解明
西尾 奈々	東京大学 大学院医学系研究科 統合生理学分野	特任研究員	マウス側頭葉の高次視覚野が正/負の情動行動に果たす役割の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
橋本 翔子	理化学研究所 脳神経科学研究センター・ 神経老化制御研究チーム	基礎科学 特別研究員	翻訳修飾解析によるタウ病理伝播機構の解明
阪東 勇輝	浜松医科大学 医学部 医学科 器官組織解剖学講座	助教	統合失調症リスク遺伝子・Cav1.2 による Ca ²⁺ 依存的 大脳皮質形成機構
平山 友里	千葉大学 大学院医学研究院 薬理学	助教	ATPトランスポーターVNUT を介する脳虚血障害保護 作用のメカニズムの解明
藤田 雅代	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 依存性薬物プロジェクト	主席研究員	各ドーパミン神経サブタイプにおける生理的役割の解 明
船橋 靖広	名古屋大学 大学院医学系研究科 神経情報薬理学	助教	グルタミン酸シグナルによるシナプス可塑性と情動行 動、学習・記憶の制御機構の解明
堀澤 士朗	東京女子医科大学 脳神経外科	助教	不随意運動疾患に対する定位脳手術による治療最適化 と治療メカニズムの解明
増川 太輝	横浜市立大学 医学部 分子薬理神経生物学教室	助教	L-DOPA 受容体 GPR143 が関わる精神・神経疾患の 病態解明
松本 一記	千葉大学 子どものこころの発達教育研究 センター	特任研究員	認知行動科学に基づく強迫症の在宅治療プログラムの 開発と有効性評価：ランダム化比較試験
三田 雄一郎	同志社大学 生命医科学部 医生命システム 学科 システム生命科学研究室	助教	パーキンソン病関連タンパク質 DJ-1 の新規修飾が パーキンソン病発症・進展に与える影響の解析
柳下 祥	東京大学 医学系研究科 構造生理学部門	講師	D2 受容体経路脆弱性と環境ストレスの相互作用に着 目した新しい精神病発症仮説の研究
柳下 聡介	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第五部	室長	タウのリン酸化の変動メカニズム解明を通じた神経細 胞の一生の理解
柳田 圭介	国立国際医療研究センター 脂質シグナリングプロジェクト	上級研究員	脳プラズマローゲン脂肪酸多様化メカニズムとその生 理的意義の解明
山口 裕嗣	名古屋大学 環境医学研究所	特任助教	マウス冬眠様低代謝状態を制御する神経回路の解析
山崎 雄	広島大学病院 脳神経内科	助教	エフェクター分子に着目した、APOE4 遺伝子多型によ るアルツハイマー病発症促進メカニズムの解明
山本 亮	金沢医科大学 医学部 生理学 1	講師	縫線核領域ドーパミン作動系による情動行動および情動 学習調節機構の解明

計 50 件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
安達 悠	国立感染症研究所 免疫部	主任研究官	ユニバーサルインフルエンザワクチンの実用化に向け たヒト交差防御抗体レパトアの性状解析
池田 輝政	熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究 センター 分子ウイルス・遺伝学 分野	准教授	脱アミノ化酵素 APOBEC3H のヒトからヒトへの HIV-1 伝播に対する阻害効果の検証
入江 浩一郎	明海大学 歯学部 社会健康科学講座 口腔衛生学分野	講師	3 型自然リンパ球に着目した口腔カンジタ症発症メカ ニズムの解明
太田 圭介	和歌山県立医科大学 医学部 微生物学教室	助教	翻訳開始因子 eIF3D とヒトパラインフルエンザウイル ス 2 型の関係
小笠原 徳子	札幌医科大学 医学部 微生物学講座・ 耳鼻咽喉科学講座	講師	ニューモウイルス感染症に対する新規治療戦略の構築 に向けた基盤研究
加藤 哲久	東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野	助教	ヘルペスウイルス潜伏感染機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
川口 敦史	筑波大学 医学医療系 感染生物学分野分子ウイルス学	教授	MxA インフラマソームによって規定されるインフルエンザウイルスの宿主域
蔵野 信	東京大学 医学部附属病院 検査部	講師	生理活性リソリン脂質によるネトーシス制御に着目した感染症続発播種性血管内凝固症候群、多臓器不全の病態解明と新規治療法の開発
小林 伸英	金沢大学 医薬保健研究域医学系 細菌学分野	助教	ボツリヌス菌が産生する膜小胞による宿主病原体相互作用の解明
駒 貴明	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 微生物病原学分野	助教	HIV-1 Gag 集合初期過程の解明
佐藤 佳	東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター システムウイルス学分野	准教授 (研究室 主宰者)	ウイルス感染が人の健康に与える影響の包括的解析
大道寺 智	京都府立医科大学 大学院医学研究科・ 感染病態学教室	講師	ウイルス・宿主双方からの鳥インフルエンザウイルスの病態解析
樋口 智紀	高知大学 医学部 微生物学講座	助教	好酸球性皮膚炎症疾患の誘因および病態に関する新規ウイルスの探求
堀場 千尋	名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝学分野	特任助教	新興呼吸器感染症に迅速対応可能な病原微生物診断システムの開発および気道マイクロバイオーム解析
港 雄介	藤田医科大学 医学部 微生物学講座	講師	コエンザイム A 生合成経路を標的とした抗結核薬の開発
本園 千尋	熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究 センター 感染予防部門 感染免疫学分野	講師	HIV 潜伏感染を引き起こす新規自然免疫型 T 細胞の同定
芳田 剛	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野	助教	動物からヒトへ伝播する可能性のあるウイルスの同定と新興ウイルス感染症阻止戦略構築
渡邊 真弥	自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 細菌学部門	准教授	黄色ブドウ球菌性トキシックショック症候群の重篤化メカニズムの解明
和知野 純一	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子病原細菌学	講師	多剤耐性菌感染症の治療に資するマルチターゲット型薬剤開発のための基盤研究

計 19 件

<基礎>

氏名	所属機関	職位	研究題目
粟澤 元晴	国立国際医療研究センター 研究所 分子糖尿病医学研究部	室長	皮膚依存的な体温調節応答の理解に基づく代謝制御メカニズムの解明
飯塚 麻菜	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学	特任助教	シェーグレン症候群における臓器特異的自己免疫応答の解明
池上 啓介	愛知医科大学 医学部 生理学講座 生理学 1	助教	高眼圧による視神経障害および眼房水産生排出における概日リズム制御の研究
伊沢 久未	順天堂大学 大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター	助教	マスト細胞の活性化制御によるアレルギー・炎症性疾患の予防・治療法開発
石津 綾子	東京女子医科大学 医学部 解剖学講座 (顕微解剖・形態形成分野)	教授	サイトカインシグナルを介した鉄代謝制御における造血幹細胞維持機構の解析
市山 健司	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学	特任助教	制御性 T 細胞における新規 Foxp3 共役因子の同定およびその機能解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
井上 毅	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 分化制御研究室	特任准教授	B細胞代謝制御による液性免疫記憶生成メカニズム
今西 貴之	理化学研究所 生命医科学研究センター・免疫シグナル研究チーム	研究員	T細胞の老化による炎症性疾患誘導の分子機構の解明
岩崎 由香	慶應義塾大学 医学部 分子生物学教室	専任講師	小分子非コード RNA によるクロマチン制御のダイナミクス
上田 陽子	大阪母子医療センター研究所 病因病態部門	流動研究員	ほ乳類初期胚発生における胚体外膜の力学的機能の解明
小笠原 千絵	金沢医科大学 医学部 免疫学講座	特定助教	アルツハイマー病におけるミクログリアの本質的な役割の解明と新規治療方法の創出
岡元 拓海	広島大学 大学院医系科学研究科 分子細胞情報学	研究員	腎臓特異的ユビキチンリガーゼRNF183の生理的機能の解析および関連疾患の新規治療薬開発
沖 健司	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科	講師	単一細胞オミックス解析を基盤にしたアルドステロン合成機構の解明と創薬基盤因子の同定
梶保 博昭	神戸大学 大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 膜動態学分野	講師	小胞体の三叉構造形成異常による神経変性疾患の発症機構の解明
勝海 悟郎	新潟大学 医歯学総合病院 循環器内科	医員	老化細胞を標的とする免疫機能の機序解明
加藤 勝洋	名古屋大学 医学部附属病院 循環器内科	病院助教	肺高血圧症における細動脈内皮細胞機能不全の網羅的解析と創薬に向けた基盤研究
金森 耀平	名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野	日本学術振興会特別研究員 PD	死細胞を起点とするNASHの進行とマクロファージ鉄代謝変容の関係
河岡 慎平	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 臓器連関研究チーム	特任准教授	がんに伴随する宿主の病態生理に関する遺伝学的研究
姜 秀辰	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫機能統御学	助教	血管内皮細胞内代謝を担うFOXO4因子による敗血症制御機構の解明
神吉 康晴	東京大学 アイソトープ総合センター RI教育研究推進部門	助教	血管の染色体構造変化から炎症遷移化機構を解明する
神田 敦宏	北海道大学 大学院医学研究院 眼科学教室	特任講師	萎縮性脈絡膜疾患に対する新規治療薬の探索
菊田 順一	大阪大学 大学院医学系研究科 免疫細胞生物学	准教授	生体骨髄内の細胞社会を制御する分子メカニズムの動的解析
北嶋 康雄	熊本大学 発生医学研究所 器官構築部門 筋発生再生分野	助教	加齢性筋肉減弱症の予防・改善のための骨格筋幹細胞の維持機構の解明
木内 謙一郎	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科	特任助教	概日時計による増殖代謝の調節とTリンパ球の活性化
楠本 大	慶應義塾大学 医学部 予防医療センター	助教	一細胞解析を用いた、新規心臓病治療薬の探索
小池 博之	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)	助教	シングルセル解析を用いた骨格筋再生を主導する細胞間相互作用解析
小泉 真一	沖縄科学技術大学院大学 免疫シグナルユニット	博士研究員	胎仔LTi細胞機能を制御する転写プログラムの解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
後藤 義幸	千葉大学 真菌医学研究センター 感染免疫分野 微生物・免疫制御プロジェクト	准教授	腸管における真菌の共生と排除機構の解明
酒井 大史	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門	助教	サルコペニア予防を目指した骨格筋におけるアンドロゲン作用基盤の解明
迫 圭輔	国立循環器病研究センター 細胞生物学部	上級研究員	血中の局所的な pH 変化に内皮細胞が応答する機構とその意義の解明
佐藤 迪夫	熊本大学 生命科学研究所 代謝・循環医学分野 分子遺伝学講座	特別研究員	ミトコンドリア機能制御の分子機構解明と医学応用
嶋田 美穂	横浜市立大学 大学院医学研究科 分子生物学教室	特任講師	白血病関連因子によるゲノム高次構造の再構築機構の解明
末富 建	山口大学 医学系研究科 器官病態内科学講座	診療助教	マクロファージ内カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症抑制による新規心不全治療法の開発
高井 淳	東北医科薬科大学 医学部 医化学	助教	改変型デオキシリボザイムを用いた事前投与可能な抗アレルギー・炎症薬開発のための基礎的研究
高杉 征樹	大阪市立大学 医学研究科 病態生理	助教	分子量の相違性に着目したヒアルロン酸の機能解明と加齢性疾患の予防への応用
田代 宏樹	佐賀大学附属病院 内科学講座 呼吸器内科	助教	腸内細菌をターゲットとした肥満難治性喘息の制御：グルカゴン様タンパクの役割
田中 繁	千葉大学 医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科	助教	腸管 CD4+T 細胞の増殖・機能的成熟における上皮細胞由来サイトカインの役割の解明による炎症性腸疾患の新規治療標的の創出
田村 彰吾	名古屋大学 大学院医学系研究科 病態解析学講座 血液・遺伝子研究室	講師	3次元培養システムによる骨髄巨核球造血微小環境の解明
樽本 雄介	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 幹細胞遺伝学分野	助教	多能性幹細胞の未分化性を維持する新規転写調節因子の同定と機能解析
築山 智之	滋賀医科大学 動物生命科学研究センター	特任准教授	非ウイルス性トランスポゾンベクターを用いたトランスジェニックサルの作出
中西 未央	千葉大学 大学院医学研究院 先端研究部門 イノベーション治療学研究講座 長寿医学研究室	講師	時計遺伝子を介した組織成熟メカニズムの解明・制御による iPS 細胞から成体組織への成熟化誘導
西澤 弘成	東北大学 大学院医学系研究科 生物化学分野	学術研究員	「フェロトーシス細胞由来抗老化シグナルモデル」の提唱
西田 憲生	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 病態生理学分野	准教授	腸幹細胞ゲノムの超保存領域に内包する分化制御スイッチの解明
野田 大地	大阪大学 微生物病研究所 遺伝子機能解析分野	助教	精子-卵子の細胞膜融合における SOF1~3 の機能解析
畠山 裕康	北里大学 医学部 生理学	講師	インスリン分泌顆粒の細胞内挙動計測による動員過程の定量理解
林 宏樹	大阪大学 大学院医学系研究科 健康発達医学寄附講座	寄附講座 助教	動脈硬化関連分子ケモカイン受容体 CX3CR1 の新規シグナル調節機能の解明
坂野 公彦	奈良県立医科大学 生理学 第二講座	講師	疾患特異的血管内皮細胞-脳オルガノイド-オンチップ血管網技術を用いた脳血管奇形の病態解明
東邦 康智	東京大学 医学部附属病院 循環器内科	助教	RNA 代謝調節の解析による心不全発症メカニズムの解明と新規心不全治療の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
兵頭 寿典	愛知医科大学 医学部 生化学講座	講師	安全性の高い新規ゲノム編集法、Tandem Paired Nicking 法のさらなる改良と臨床応用を目指して
平崎 正孝	埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 発生・分化・再生部門	助教	Epi 幹細胞の維持と分化の方向性の決定における Mbd3 の機能
廣瀬 卓男	東北医科薬科大学 医学部 統合腎不全医療寄附講座	寄附講座 助教	腎臓線維化における (プロ) レニン受容体の役割の解明
古澤 慧美	東京医科歯科大学 医歯薬総合研究科 分子免疫学分野/小児歯科学分野	医員	舌下粘膜にリクルートする制御性 T 細胞と免疫抑制型マクロファージの相互作用機序の解明
堀江 貴裕	京都大学 医学部附属病院 循環器内科	助教	コレステロール応答性長鎖非コード RNA の機能解明
前川 知樹	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 高度口腔機能教育研究センター	准教授	恒常性維持タンパク質 DEL-1 の自律的誘導法による抗炎症賦活化機構の解明
間木 重行	東邦大学 医学部 生理学講座 細胞生理学分野	助教	チロシンキナーゼ型受容体を標的とする抗癌薬が誘導する心機能障害の統合数理解析
益田 紗季子	北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野	講師	低酸素による好中球細胞外トラップ形成障害の機序解明
増田 真志	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野	助教	ミネラルによる加齢性疾患制御研究
松浦 徹	関西医科大学 医学部 実験病理学講座	講師	子宮オルガノイドを用いたマウス胚の着床及び発生の試験管内再現
宮岡 佑一郎	東京都医学総合研究所 生体分子先端研究分野 再生医療プロジェクト	プロジェクト リーダー	ゲノム編集結果の 1 細胞解析
安田 大恭	秋田大学 大学院医学系研究科 生体防御学講座	助教	リンパ管新生を制御するリゾホスファチジン酸の作用機序と病態機能
箭原 康人	富山大学附属病院 整形外科	医員	破骨細胞の起源多様性から紐解く骨恒常性維持機構の解明
山口 智和	秋田大学 大学院医学系研究科 分子機能学・代謝機能学講座	助教	新型コロナウイルス受容体 ACE2 様酵素 B38-CAP による急性肺傷害の重症化阻止と治療応用
山崎 亮太	九州歯科大学 健康増進学講座 感染分子生物学分野	助教	歯周病原性細菌の Persister 化機構やバイオフィルム内の動態解明による口腔疾患の抑制
山下 真幸	東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞分子医学分野	助教	造血幹細胞による MHC-I 分子を介した非自己抗原提示と免疫回避
山本屋 武	広島大学 大学院医系科学研究科 医化学教室	助教	運動神経変性疾患における運動神経および骨格筋 TFG の病態形成への寄与と治療標的としての可能性の検討
横田 和浩	埼玉医科大学 リウマチ膠原病科	講師	シングルセルレベルでの関節リウマチの病態を担う炎症性破骨細胞の解析・同定
横山 真隆	千葉大学 大学院医学研究院 分子病態解析学	助教	心臓血管内皮細胞の臓器特異性に基づいた新規心疾患治療戦略の基盤研究
吉岡 耕太郎	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 脳神経病態学分野	特任助教	DNA/RNA ヘテロ 2 本鎖核酸構造を利用した新規マイクロ RNA 制御機構による難治性神経変性疾患の克服に向けて

氏名	所属機関	職位	研究題目
吉崎 恵悟	九州大学 大学院歯学研究院 歯科矯正学分野	助教	上皮-間葉相互作用モデルを用いた器官運命決定制御機構の解明
吉田 守克	国立循環器病研究センター 研究所 生化学部	上級研究員	腸内細菌由来ペプチド性因子の同定による新たなエネルギー代謝調節機構の解明
吉本 尚平	福岡歯科大学 生体構造学講座 病態構造学分野	助教	ヒト唾液腺オルガノイドをモデルとした口腔乾燥症治療へのアプローチ
李 智媛	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター バイオイメージング部門	助教	クロマチン・リモデリングによる骨吸収性疾患と神経変性疾患の機能調節相関解析
和田 はるか	北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫生物分野	講師	T 前駆細胞由来樹状細胞は自己免疫寛容の構築に寄与するか

計 73 件

<臨床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
馬越 洋宜	九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科	特任助教	副腎皮質腫瘍における機能的不均一性の解明と新規診断法の構築
大石 直樹	慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室	専任講師	義耳一体型軟骨伝導補聴器の開発および臨床応用
小保方 優	群馬大学 医学部附属病院 循環器内科	助教	アドレノメデュリンを標的にした左室駆出率の保たれた心不全患者の肺うっ血治療の開発
梶川 正人	広島大学病院 未来医療センター	診療講師	重症下肢虚血に対する自家骨髄単核球細胞移植による血管新生療法の長期的な安全性・有効性の検討
片岡 雅晴	慶應義塾大学 医学部 循環器内科	専任講師	大規模臨床検体を用いた肺動脈性肺高血圧症の遺伝学的病態基盤解明研究
門田 真	信州大学 医学部 再生医科学教室	助教	生物学的心臓ペースメーカーの開発
川島 友和	東邦大学 医学部 解剖学講座 生体構造学分野	准教授	心房中隔欠損症カテーテル治療後の新規伝導障害発症の原因解明とその予防・デバイス改良のための臨床解剖学的多次元モデル構築
越坂 理也	千葉大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科	診療講師	糖尿病治療薬は日本人の心血管イベントを抑制するのか？ National Data Base を用いた解析方法の確立と検証
坂上 倫久	愛媛大学 大学院医学系研究科 心臓血管・呼吸器外科学	講師	大動脈弁における異所性骨芽細胞分化機序の解明と石灰化予防法の開発
坂本 優子	順天堂大学 医学部附属練馬病院 整形外科	准教授	幼児ビタミン D 欠乏に関連する潜在的生活因子及びビタミン D 遺伝子多型の解明と Web 上に展開するビタミン D 欠乏推測ツールの開発
田崎 雅義	熊本大学 大学院生命科学研究部 構造機能解析学講座	助教	疾患標識マーカーや治療法の開発に繋がる新規 EFEMP1 アミロイドの線維形成メカニズムの解明
玉井 孝司	大阪市立大学 医学部 医学科 整形外科教室	後期研究医	Deep learning による人工知能解析を併用した脊椎術後心理側面的 QOL 改善に寄与する因子予測、及び、前向き介入研究
田丸 弓弦	呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科	医師	Zenker 憩室に対する軟性内視鏡的憩室隔壁切開術の有用性に関する多施設共同前向き研究
戸子台 和哲	東北大学 医学系研究科 消化器外科学分野	助教	羊膜上皮細胞を用いた先天性代謝異常症・1 型糖尿病に対する新規細胞移植療法の確立
永井 礼子	北海道大学 小児科	医員	小児期発症肺高血圧症における予後とリスク因子の解明
中森 史朗	三重大学 大学院循環器腎臓内科学	助教	免疫チェックポイント阻害剤関連心筋炎のメカニズム解明および早期診断法の確立

氏名	所属機関	職位	研究題目
納富 昭司	九州大学病院 眼科	助教	初期加齢黄斑変性類似病変を呈するリソソーム障害モデルマウスを用いた網脈絡膜の脂質代謝異常の解析
広田 雅和	帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科	助教	視覚障害者の Quality of Life 向上を目指した訓練不要な視覚補助具の開発
藤井 涉	京都府立医科大学 免疫内科	病院助教	シングルセル解析による二次性血球貪食症候群の病態解明
松本 寿健	大阪大学附属病院 救命救急センター 救急医学講座	医員	トランスクリプトーム解析に基づいた集中治療室における重症患者の新規分子ネットワーク病態解明
宮本 康二	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 不整脈科	医長	無症状性心房細動患者に対するカテーテルアブレーションの有効性・安全性に関する多施設比較探索的臨床試験
村田 大紀	佐賀大学 医学部附属再生医学研究センター	助教	バイオ 3D プリンタにより創出する靭帯組織体を用いた靭帯再建法の確立
茂久田 翔	広島大学病院 リウマチ・膠原病科	研究員	イントロン型マイクロ RNA・宿主遺伝子間の協調的機能の解析とその相乗効果を利用した関節疾患に対する核酸医薬の開発
森田 修平	和歌山県立医科大学 第一内科	講師	肥満・糖尿病における IRE1 α に着目した UPR 制御機構解明と新規治療戦略
森永 潤	熊本大学病院 総合臨床研究部	特任助教	新規慢性炎症・老化促進因子アンジオポエチン様因子 2 に着目した血液透析患者における心血管疾患発症予測マーカーの開発
山田 勝久	北海道大学 大学院医学研究院 整形外科科学教室	特任助教	椎間板性疼痛に対する革新的ソフトバイオマテリアルを用いたリバーストランスレシヨナルアプローチ
山田 満穂	慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室	専任講師	初期胚発生型遺伝子発現制御を介したゲノム DNA とミトコンドリア DNA のリプログラミングによる全能性幹細胞の樹立
和田 陽一	東北大学 小児病態学分野	助教	非酵素的反応に着想を得たドラッグ・リポジショニングによるガラクトース血症 IV 型の新規治療薬の検討

計 28 件

医学系研究継続助成

<がん領域（基礎）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
岩本 英希	久留米大学 先端ガン治療研究センター 肝臓部門	助教	腫瘍血管内皮細胞特異的なマイクロ RNA を標的とした新規血管新生抑制治療の開発
久保田 翔	熊本大学 国際先端医学研究機構 白血病転写制御研究室	日本学術 振興会・ 特別研究員 PD	染色体転座由来スーパーエンハンサー活性化による白血病発症の分子基盤解明
小村 和正	大阪医科大学 泌尿器科学教室／研究支援センター トランスレシヨナルリサーチ部門	講師／ 副部門長	前立腺がんにおける男性特異的ヒストン脱メチル化酵素 KDM5D 欠失の分子生物学的特徴の解明
富樫 庸介	千葉県がんセンター研究所 細胞治療開発研究部	部長	がん抗原の階層性検討による抗腫瘍免疫応答の本態解明
内藤 尚道	大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野	准教授	腫瘍血管内皮細胞の「細胞死」誘導による血管新生阻害療法の開発
山田 忠明	京都府立医科大学 大学院呼吸器内科学教室	講師	肺がん治療抵抗性細胞の分子機構の解明と新規治療法の開発

計 6 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
木下 学	大阪国際がんセンター 脳神経外科	特別研究員	脳腫瘍の個別化ゲノム医療を目指した MRI による AI 支援下非侵襲分子診断技術開発
佐藤 和秀	名古屋大学 高等研究院・大学院医学系研究科 病態内科呼吸器内科学講座	S-YLC 特任助教	局所がん免疫をターゲットとした抗腫瘍光線療法の開発と応用：肺がん制圧を目指して
林 大久生	順天堂大学 医学部 人体病理病態学講座	准教授	肺腺癌における免疫チェックポイント阻害抗体治療効果予測バイオマーカーの開発
横山 和明	東京大学 医科学研究所 附属病院血液腫瘍内科	助教	腫瘍循環 DNA を用いた白血病における革新的な移植後再発予測システムの構築

計 4 件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
小野 大輔	名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野Ⅱ	助教	哺乳類の行動の時間的ニッチを制御する脳内メカニズムの解明
木村-吉田千春	大阪母子医療センター研究所 病因病態部門	主任研究員	二分脊椎疾患の病態発症機構の解明－表皮形成の視点から－
實吉 岳郎	京都大学 大学院医学研究科 システム神経薬理学	准教授	自己活性化型シグナル複合体による記憶維持のメカニズム
清水 文崇	山口大学 大学院医学系研究科 臨床神経学	助教 (学部内 併任講師)	血液脳関門／血液神経関門を操作する新規モノクローナル抗体の作製
橋本谷 祐輝	同志社大学 大学院脳科学研究科 シナプス分子機能部門	准教授	海馬歯状回ネットワークにおける苔状細胞の役割
坂内 博子	早稲田大学 理工学術院	教授	1 分子イメージングによる脳神経疾患発症機構の解明

計 6 件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
高村 史記	近畿大学 医学部 免疫学教室	講師	肺滞在型メモリーCD8T 細胞分化調節機構の解明
松本 祐介	和歌山県立医科大学 医学部 微生物学教室	助教	モデルウイルスを用いたクリミア・コンゴ出血熱ウイルスの病原性解析
渡邊 洋平	京都府立医科大学 医学研究科 感染病態学	講師	インフルエンザウイルスの宿主適応に関わる新規宿主因子の同定

計 3件

<基礎>

氏名	所属機関	職位	研究題目
上田 和孝	東京大学 医学部附属病院 循環器内科	特任助教	「血管の褐色化」からとらえる動脈硬化への新たなアプローチ
鈴木 隆史	東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野	講師	生体防御機構 Keap1-Nrf2 システムの活性制御メカニズムの解明
瀧井 良祐	山口大学 医学系研究科 医化学講座	助教 (学部内 併任講師)	染色体分配関連因子による熱ショック応答の制御
中津 祐介	広島大学 大学院医系科学研究科 医化学講座	講師	筋力及び持久力を制御する Pin1 の機序解明とフレイル治療への応用
長谷川 豊	岩手医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科	特任講師	肥満における褐色脂肪細胞の生理機能とその分子基盤の解明
常陸 圭介	藤田医科大学 総合医科学研究所 難病治療学研究部門	助教	筋タンパク質のメチル化修飾を標的とした新たな筋萎縮治療法の開発
日野 信次朗	熊本大学 発生医学研究所・細胞医学分野	准教授	ビタミン B2 依存性エピゲノム形成を介した骨格筋維持機構の解明
山城 義人	筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 循環ダイナミクス	助教	大動脈瘤発生に関与するマトリセルラータンパク質の血管壁における機能解析

計 8件

<臨床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
宇都宮 裕人	広島大学 大学院医系科学研究科 循環器内科学	助教	経皮的治療時代を見据えた構造的な心疾患の新たな評価法と予後へのインパクト
林 香	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科	助教	腎糸球体足細胞のDNA 損傷とDNA メチレーションをターゲットにした慢性腎臓病治療法の開発
柳 重久	宮崎大学 医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野	助教	肺上皮特異的 Pten/RhoA/Ror2 欠損マウス作製による喫煙関連肺疾患の病態解明
山口 剛史	東京歯科大学 市川総合病院 眼科	講師	オミクス技術を駆使した角膜内皮疾患の包括的病態解明

計 4件

薬学系研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋葉 宏樹	医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター 最適化支援プロジェクト	研究員	リンカー構造の操作によるバイパラトピック抗体の分子認識変換
安保 博仁	千葉大学 薬学研究院 免疫微生物学研究室	助教	炎症性腸疾患の病態形成におけるムチン硫酸化の意義と治療への展開
荒川 大	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室	助教	中分子化合物の脳内デリバリーを目指した血液脳関門輸送体の探索
市村 敦彦	京都大学 大学院薬学研究科 生体分子認識学分野	助教	軟骨細胞内 Ca ²⁺ 制御機構の解明と骨関連疾患への創薬応用
伊藤 幸裕	京都府立医科大学 大学院医学研究科 医薬品化学	准教授	標的酵素の形を変える阻害薬の創製とその機能解析
井上 飛鳥	東北大学 大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野	准教授	G13 シグナルを制御する人工型 GPCR の作出
宇田川 剛	東北大学 薬学研究科 遺伝子制御薬学分野	助教	mRNA・タンパク質品質管理機構の破綻による精神発達障害の発症機序
大石 真也	京都大学 薬学研究科 ケモゲノミクス・ 薬品有機製造学分野	准教授	抗ウイルス薬のシーズ探索のための鏡像スクリーニング系の構築と応用
大竹 史明	星薬科大学 先端生命科学研究所	特任准教授	標的タンパク質分解の誘導機構と創薬応用
小俣 大樹	帝京大学 薬学部 薬物送達学研究室	助教	脳への薬物送達を目的としたマイクロ流体技術によるパブル製剤の開発
神野 伸一郎	愛知学院大学 薬学部 生体有機化学講座	教授	難病ライソゾーム病の光化学治療を指向した近赤外吸収色素の創製と機能開発
川畑 伊知郎	東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野	助教	パーキンソン病の新規治療戦略と超早期予測技術の開発
岸 雄介	東京大学 大学院薬学系研究科 分子生物学教室	講師	生体内ニューロンの一生にわたるクロマチン構造変化の解析
木村 康明	名古屋大学 大学院理学研究科 物質理学専攻 (化学系) 生物有機化学研究室	助教	新規作用機序に基づく抗 HIV 医薬の開発
熊田 佳菜子	東北大学 大学院薬学研究科 分子変換化学分野	助教	銅触媒を用いた分子状酸素活性化による直截的かつ環境調和的な医薬品構成化合物合成法の開発
倉内 祐樹	熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物活性学分野	助教	脳温制御をコンセプトとした頭痛病態の新仮説提唱と予防・治療への応用
佐藤 浩輔	北海道医療大学 薬学部生命物理科学講座 薬品分析化学分野	講師	芳香族求核置換反応を用いる新規核酸-タンパク質架橋剤の開発
佐藤 秀行	静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野	講師	印刷工学技術を基盤とした微粒子設計による中分子医薬品の経肺 DDS プラットフォーム開発
勢力 薫	大阪大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野	招へい教員	細胞レベルの多脳領域神経活動解析とデータマイニングを用いた多元受容体作用抗精神病薬の薬効神経基盤解明
高橋 浩平	国際医療福祉大学 薬学部 薬学科 薬理学分野	助教	ミエリン形成障害仮説に基づくうつ症状発症メカニズムの解明
高山 健太郎	京都薬科大学 生命薬科学系 衛生化学分野	准教授	2型ニューロメジン U 受容体の特異的活性化に基づく難病プロラクチノーマ治療の新展開
田口 晃弘	東京薬科大学 薬学部 薬品化学教室	助教	水溶性 Npys 誘導体の創製と生体分子における効率的化学修飾法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
竹内 恒	産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング研究 センター・構造モダリティ研究 チーム	研究 チーム長	バイオ医薬の非侵襲的評価を可能にする立体構造解析 技術の開発
田湯 正法	明治薬科大学 薬品製造化学研究室	助教	光レドックス触媒と C2 対称スルフィド触媒を組み合 わせたエナンチオ選択的トリフルオロメチル化反応の 開発研究
津村 遼	国立がん研究センター 先端医療開発センター 医薬品 開発グループ 新薬開発分野	特任研究員	膵がん治療を目的とした抗体抗がん剤複合体の開発と 改良
中村 浩之	千葉大学 大学院薬学研究院 薬効薬理学研究室	准教授	セラミド代謝を標的としたニーマン・ピック病 C 型の 病態解明と創薬
野中 さおり	安田女子大学 薬学部 薬学科 医療薬学講座 薬理学研究室	助教	歯周病菌由来ジンジンパインによる脳血管内皮細胞の透 過性増大機構の解明
畠山 浩人	千葉大学 大学院薬学研究院 臨床薬理学研究室	准教授	腫瘍間質と免疫状態の制御を可能とする膵癌選択的医 薬送達による膵癌免疫療法の開発
濱野 展人	東京薬科大学 薬学部 医療衛生薬学科	助教	CO ₂ 産生ナノ粒子と超音波を利用した難治性乳がん に対する診断・治療システムの構築
原田 慎吾	千葉大学 大学院薬学研究院 薬化学研究室	助教	芳香族フィードストックと未開拓化学種を利活用した 薬理活性分子群の創生
檜井 栄一	岐阜薬科大学 薬学部 薬理学研究室	教授	骨髄微小環境におけるがん幹細胞とニッチ細胞のサイ トカインネットワーク
平田 祐介	東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野	助教	ヒト難治性疾患治療に繋がる霊長類特異的新規ユビキ チン化酵素ファミリー分子群の包括的機能解析
深田 宗一郎	大阪大学 大学院薬学研究科 細胞生理学分野・筋幹細胞創薬 プロジェクト	准教授	筋カトレーニング依存的な筋線維核数増加の根底にあ る分子メカニズムの解明
藤井 晋也	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 薬化学分野	准教授	ホスフィンボラン構造を用いた新規ケミカルスペース の開拓と生物活性化合物の創出法の提案
水野 忠快	東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	助教	肝機能障害進行機構の理解を志向した肝免疫応答攪乱 化合物群の確立
村井 健一	大阪大学 大学院薬学研究科 医薬合成化学分野	講師	医薬化学的展開を志向したアンセロン類の網羅的合成 法開発
薬師寺 文華	北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学研究教育センター 有機合成医薬学部門	講師	標的アミノ酸残基の選択的的化学修飾を基盤とした新規 創薬方法論の開発
山口 英士	岐阜薬科大学 創薬化学大講座 合成薬品製造学研究室	講師	ハロゲン結合を鍵とした光触媒のリデザイン：直接活 性化経路による超効率分子変換法への応用
横井 佐織	北海道大学 大学院薬学研究院 RNA 生物学研究室	助教	オキシトシンによる自閉症様行動改善メカニズムの解 明
横山 武司	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 構造生物学講座	助教	多標的スクリーニングを用いた医薬品再開発による希 少疾患治療戦略
李 辰竜	愛知学院大学 薬学部 衛生薬学講座	准教授	アポトーシス抑制因子 BIRC5 を介したがん治療にお ける有害重金属の抑制作用
渡部 匡史	京都薬科大学 生命薬科学系 細胞生物学分野	助教	がんウイルスがコードする転写開始前複合体とウイル スゲノム高次構造との機能的関係性の解明

計 42 件

薬学系研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
小出 裕之	静岡県立大学 薬学部 医薬生命化学教室	講師	ナノ粒子の経口投与後の体内動態を制御する基盤技術の構築
谷口 敦彦	東京薬科大学 薬学部 薬品化学教室	講師	分子レベルの高選択性を基盤としたがんに対する新しい光線力学的療法の開発
東 大志	熊本大学 大学院薬学教育部 製剤設計学分野	准教授	医薬品原薬としての超分子の有効利用と新たな創薬の概念の提案
淵上 剛志	長崎大学 医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻 衛生化学分野	准教授	Survivin を標的としたがん選択的内用療法を目的とする中分子薬剤の開発
森本 浩之	九州大学 大学院薬学研究院 環境調和創薬化学分野	講師	窒素上無保護アミン類の環境調和型立体選択的直接合成法の開発

計 5件

特定研究助成

機関名	代表者	部科・職位	研究題目
九州大学	三森 功士	外科 教授	難治性消化器がんの前がん病変特異的な活性化エンハンサー領域/遺伝子の可視化と創薬標的となる特異的ゲノム変異の同定
熊本大学	山縣 和也	大学院生命科学研究部 病態生化学講座 教授	セントラルドグマの修飾変容に着目した加齢関連疾患の分子機構解明とその応用展開
順天堂大学	小松 雅明	医学部 教授	オートファジーの選択性が織り成す細胞機能：分子から病態制御まで
筑波大学	深水 昭吉	生存ダイナミクス研究 センター 教授（副センター長）	遺伝情報の定量解析から捉える心腎ネットワークの基盤的研究
東京医科歯科大学	高橋 英彦	精神行動医科学 主任教授	意思決定における海馬リップル波の機能解明に向けた双方向性トランスレーショナルリサーチ
東京工業大学	中戸川 仁	生命理工学院 准教授	オートファジーにより選択的に分解される細胞成分の網羅的同定と解析
東京薬科大学	田中 正人	生命科学部 免疫制御学研究室 教授	疾患特異的単球サブセットを標的としたがんに対する新規治療法の開発
東北大学	稲田 利文	大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野 教授	翻訳制御の破綻による精神疾患発症機構の解明
富山大学	井ノ口 馨	学術研究院医学系 卓越教授	潜在意識下の脳の活動と機能に関する研究
奈良先端科学技術 大学院大学	箱嶋 敏雄	研究推進機構 研究推進機構長 （理事・副学長）	生体防御タンパク質の構造生命科学
新潟大学	松井 秀彰	研究推進機構 脳病態解析分野 准教授	アフリカメダカで明らかにする様々な難治疾患の新規病態
浜松医科大学	才津 浩智	医学部医学科 教授	ゲノム解析、イメージング解析、疾患モデルマウス解析による小児難病の分子基盤と病態メカニズムの解明
兵庫県立大学	吉田 秀郎	大学院生命理学研究科 教授	小胞体・ゴルジ体ストレス応答を軸とした新規創薬戦略の基盤構築
理化学研究所	村川 泰裕	生命医学研究センター チームリーダー	パーソナル全ゲノム解析によるヒト疾患の理解と医療応用

計 14件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

氏名	所属機関	職位	研究題目
阿部 弘基	横浜市立大学 学術院 医学群 医学部 生理学	助教	AMPA-GABA dual PET imaging による次世代型不随意運動症診断法の確立
池田 和博	埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 遺伝子情報制御部門	講師	患者由来がん幹細胞様細胞におけるミトコンドリア呼吸鎖超複合体の機能解明と治療への応用
石田 高司	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞免疫学	特任教授	死細胞が惹起する腫瘍微小環境についての総合解析と治療応用
大島 淳子	千葉大学 大学院医学研究院 イノベーション医学 (分子病態解析学)	特任教授	加齢のカリカチュアである早老症の分子基盤の解明とその応用研究
太田 誠一	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 医療材料・機器工学部門	助教	DNA ナノテクノロジーを用いたマイクロ RNA のオンサイト・マルチ測定基盤の開拓
大塚 正人	東海大学 医学部 医学科 基礎医学系 分子生命科学	教授	抗体を活用した新規ゲノム編集ツールの開発と、白血病治療への応用
小川 陽一	山梨大学 医学部 皮膚科学講座	助教	Stevens-Johnson 症候群 (SJS) / 中毒性表皮壊死症 (TEN) 早期迅速診断キットの開発
加藤 英明	東京大学 大学院総合文化研究科 先端科学研究機構 加藤研究室	准教授	同一リガンド認識 GPCR の G タンパク質複合体構造解析を通じたシグナル選択性構造基盤の解明
金子 修三	国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御学分野	ユニット長	ロボティクス技術を駆使した極微量 FFPE 検体を用いた ChIP-seq および Hi-C 大規模解析手法の確立
菊水 健史	麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 介在動物学研究室	教授	IoT クラウドシステムによるヒト動物の互恵的な健康社会の実現
菊池 次郎	自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部	准教授	完全人工合成ライブラリーを用いた治療用 VHH 抗体の開発
小久保 博樹	広島大学 大学院医系科学研究科 心臓血管生理医学教室	講師	心臓ペースメーカー細胞を用いた不整脈治療にむけた基礎的研究
佐藤 公雄	東北大学 高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室	准教授	肺動脈性肺高血圧症の全く新しい治療薬開発
鈴木 拓児	自治医科大学 呼吸器内科	准教授	難治性呼吸器疾患に対するデザイン細胞による新規プレシジョン医療の基盤構築
竹田 哲也	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 生化学分野	助教	ダイナミンの疾患型 SNV の多階層解析から解明する希少難治性疾患の発症機序
谷川 千津	東京大学 医科学研究所 シーケンス技術開発分野	助教	ゲノム医療の社会実装を目指した機能欠失型多型の Phenotype 横断的関連解析
竹馬 俊介	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室	専任講師	個体老化と免疫老化を加速させる、内在性レトロウイルスの同定と機能解析
鳥羽 修平	三重大学 大学院医学系研究科 胸部心臓血管外科	助教	胸部 X 線写真を定量的に評価する人工知能の開発と、循環器領域における臨床応用
中沢 由華	名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野	助教	転写と共役した DNA 修復の分子機構解明と DNA 修復欠損性遺伝性疾患の病態解明
中田 隆夫	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 細胞生物学分野	教授	光遺伝学とクライオ電子線トモグラフィによる細胞内アクチン細胞骨格の超解像度 4 次元観察

氏名	所属機関	職位	研究題目
西口 康二	東北大学 大学院医学系研究科 視覚先端医療学	准教授	網膜色素変性に対する世界初の変異置換ゲノム編集治療の開発
林 幹人	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学分野	助教	ヒト特異性に着目した破骨細胞研究
林地 のぞみ	順天堂大学大学院 ゲノム再生医療センター	特任助教	G-CSF シグナルが代謝の多臓器連関ネットワークに与える影響の解明
古山 賢一郎	京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門	特定拠点 講師	膵島内分泌細胞間の分化転換誘導による新規糖尿病治療の研究
星野 温	京都府立医科大学 循環器内科学	助教	疾患抵抗性遺伝子変異ゲノム編集による神経変性疾患克服
細川 智永	京都大学 医学部 システム神経薬理学	特定研究員	神経ネットワークを自由に操作することを目指した、シナプス内部構造の形成機構と再構築
松井 広	東北大学 大学院生命科学研究所 超回路脳機能分野	教授	脳内超可塑性のメタ制御による拡張知能の実装
眞鍋 一郎	千葉大学 大学院医学研究院 長寿医学	教授	造血・自然免疫系ストレス記憶の精神・身体作用機序解明
守本 祐司	防衛医科大学校 生理学講座	教授	インプラントブル光源によるがん治療
谷内田 真一	大阪大学 大学院医学系研究科 医学専攻 ゲノム生物学講座 がんゲノム 情報学	教授	“Microbiome-based Precision Medicine” を見据えた腸内細菌叢の変動に基づく大腸癌発症機構の解明と予防法の創出
柳井 秀元	東京大学 先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野	特任准教授	異常自己分子による免疫応答の発動・調節機構の解明と疾患病態との関わり解明
横溝 智雅	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞制御研究室	特任助教	造血幹細胞の試験管内誘導法の開発

計 32 件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）

氏名	所属機関	職位	研究題目
伊藤 綾香	名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野	助教	慢性炎症性疾患における脂質代謝の意義の解明
小田 ちぐさ	筑波大学 医学医療系 生命医科学域 免疫制御医学	助教	貪食を制御する機構の解明
佐藤 美由紀	群馬大学 生体調節研究所 生体膜機能分野	准教授	オートファジーによる細胞質品質管理のコントロールと細胞寿命
鈴木 教郎	東北大学 大学院医学系研究科 酸素医学分野	准教授	臓器線維化の分子機構
田仲 哲也	鹿児島大学 共同獣医学部 獣医学科 病態予 防獣医学講座 感染症学分野	教授	病原体伝播を阻止するマダニの遺伝子改変ドライブの創出
田中 元雅	理化学研究所 脳神経科学研究センター	チーム リーダー	アミロイドの人工的制御を目指して
中澤 敬信	大阪大学 大学院歯学研究科 薬理学教室	准教授	分子病態に基づく自閉症の分類化のトランスレーショナル研究
丸山 剛	早稲田大学 高等研究所	独立講師	新規がん予防薬スクリーニングと変異細胞排除メカニズム

氏名	所属機関	職位	研究題目
山口 良文	北海道大学 低温科学研究所 冬眠代謝生理発達分野	教授	哺乳類が有する冬眠能の分子基盤解明
山本 尚	中部大学 総合工学研究所	教授	超高率革新的ペプチド合成-ペプチド創薬の基盤インフラ創成

計 10 件

ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
板倉 英祐	千葉大学 大学院理学研究院 生物学研究 部門 細胞機能制御研究室	助教	血液内の掃除システムの解明
大川 宜昭	獨協医科大学 先端医科学統合研究施設 先端医科学研究センター 認知・記憶研究部門	部門長/ 准教授	神経細胞群の活動様式から“心”を読む・創る
佐藤 荘	大阪大学 免疫学フロンティア研究セン ター	准教授	疾患特異的 M2 マクロファージの制御
早河 翼	東京大学 医学部附属病院 消化器内科	助教	大量放射線被曝後の救命法の確立
松田 浩一	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	教授	p53 変異をターゲットとした治療法の開発

計 5 件

ビジョナリーリサーチ継続助成 (ジャンプ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
内匠 透	神戸大学 大学院医学研究科 生理学・細胞 生物学講座 生理学分野	教授	気分の分子的理解を求めて

計 1 件

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
伊藤 信一	浜松学芸中学校・高等学校	教諭	音声データを用いた野外調査の省力化に向けたプログラミング学習の有効性
鶴飼 哲真	大谷中学校・高等学校	教諭	軟水と硬水を用いた比較実験を通して考える、国や地域における生態および食文化の違いについて
鎌田 隆史	宮城学院中学校高等学校	教諭	丸田沢に隣接する宮城学院所有林の教材化～観察マップの更新とデジタル化～
齊藤 亮平	茂原市立東中学校	教諭	主体的・対話的で深い学びを実践するための教材開発～動物の体のつくりと働きにおけるモデル作製～
阪田 忠	天理市立西中学校	講師	マメ科植物ラッカセイの結実メカニズムの解明
佐々木 克也	長野清泉女学院中学・高等学校	教諭	野尻湖におけるワカサギふ化・放流事業の生態学的研究
佐竹 靖	奈良教育大学附属中学校	教諭	海の無い奈良県の中学校でスサビノリの養殖ができるのか
佐野 美穂	南あわじ市立三原中学校	主幹教諭・理科部顧問	ホタルを守る環境づくり
柴崎 裕子	大田区立大森第六中学校	指導教諭	洗足池周辺の環境 ～SDGs達成のために～
菅野 俊幸	福島県福島市立吾妻中学校	教諭	福島県の農産物のおいしさを科学的な視点で評価する
田中 智史	東京都葛飾区立大道中学校 (東京都中学校理科教育研究会 観察実験委員会)	主任教諭	思考力・判断力・表現力を育む教材と指導法～ブロック教材を用いた地層の学習～
田中 誉也	磐田市立豊田中学校	教諭	教科横断的な視点でパリ協定を大人と共に考える、地域連携学習の研究
田村 裕夏	宇都宮市立陽南中学校	教諭	理系女子育成のための理工・医療分野における教材開発及び好奇心を活性化する『STEAM教育の実践』
名取 克裕	長野県諏訪郡富士見町立 富士見中学校	教諭	地域と共に生徒の自然観を涵養するための地域環境再現「富士見中ジオパークプロジェクト」
日根 昌紀	木更津市立木更津第二中学校	教諭	瞬間をとらえる科学 ～iPadの活用を通して～
松村 浩一	防府市立華陽中学校	教諭	納得する体験型教材の開発と感動する大型教材の製作
間所 忠昌	長浜市立虎姫学園	教諭	4-3-2 制義務教育学校のセカンドステージにおける理科教育の充実と児童生徒の科学的アプローチ技能習得を目指した研究
宮下 健太	島根大学教育学部附属 義務教育学校	教諭	中学校における科学的な探究心を育む地域生物教材の開発と実践～メダカの教材化～
森島 浩一	広島市立福木中学校	教諭	自然放射線を生徒自身で測定させることで、放射線の影響を科学的・客観的に判断できるようにする授業の実践研究
森田 宏之	長野県諏訪清陵高等学校附属 中学校	教諭	学びの質を高める理数探究の創造～教科横断、領域横断的な視点にたって～
矢部 重樹	横浜市立横浜サイエンスフロンティア 高等学校附属中学校	教諭	絶滅危惧植物「コイワザクラ」の生態学的調査と保全活動
渡邊 剛	鹿児島県南九州市立川辺中学校	教諭	清水湧水オキチモズクの生態 ～清水のオキチモズクはどこから移入したのか～

計 22 件

<高等学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
朝久野 崇	大分県立大分南高等学校	教諭	デジタルオシロスコープとマイコンを用いた力積測定システムの構築と実践
荒井 賢一	栄東高等学校	教諭	ひかり拓本の技術を利用した埼玉県に残る 1923 年関東地震に関する記録調査
石田 純一	山口県立山口高等学校	教諭	生徒の「学ぶ力」を高める高校化学の授業新スキーム開発
伊藤 慧	明治大学付属 明治高等学校・明治中学校	教諭	電気回路における Black Box の実験導入の有効性 ー異なる授業方式が教育効果に与える影響およびジェンダーギャップに着目するー
今井 奈緒美	大妻嵐山高等学校	教諭	マイハギの巡回運動と光の関係について
大迫 武治	鹿児島県立曾於高等学校	教諭	カマキリの体内に潜む寄生虫について～なぜ、宿主の違いによってハリガネムシに形態差が生じるのか～
大多和 光一	兵庫県立宝塚北高等学校	教諭	定番の電気実験が、誰でも簡単に探究的に実施できる教材開発
大橋 綾也	千葉県立国府台高等学校	教諭	国府台高校グラウンドにおける二次遷移の調査
岡本 宇隼	京都府立東宇治高等学校	教諭	学習の系統性を意識した中高連携による誤概念（素朴概念）の改善を促す物理授業の開発
勝野 啓	兵庫県立兵庫高等学校	教諭	高校生に対するプログラミングを用いた物理探究学習の実践（プログラミング言語 python を用いて）
川井 亮祐	愛媛県立新居浜南高等学校	教諭	FDTD 法を用いた音波シミュレーションの教材化及びホワイトノイズを用いた共鳴実験法の開発とその応用
木浪 信之	神奈川県立横須賀高等学校	教諭	造岩鉱物元素をパラメータとした三浦半島形成の探究と地質構造モデルの教材化
木村 亨	青森県立名久井農業高等学校	非常勤講師	多機能集水技術の研究
串間 宗夫	宮崎県立宮崎工業高等学校定時制	教諭	人から発生する生体信号データを医療に応用する研究
久保川 剛宏	滋賀県立河瀬高等学校	教諭	滋賀県某河川における希少淡水魚ハリヨの生息状況評価 ～理想的な保全にむけて～
熊谷 篤	岩手県立久慈高等学校	教諭	PCR を用いる実験をより簡単に安価に実施する方法の開発 ～遺伝子実験をより多くの生徒に体験させることを目標として～
倉澤 勝仁	山梨県立ひばりが丘高等学校	教諭	Fe(Ⅱ)とFe(Ⅲ)の寒天中での拡散による Fe ₃ O ₄ の合成の研究
後飯塚 由香里	東京都立駒場高等学校	指導教諭	単元を超えて化学の広がりを実感できる実験教材の開発
小林 義行	茨城県立土浦第三高等学校	教諭	ケブラー運動装置の開発
小山 悠太	浅野中学校・浅野高等学校	専任教諭 (理科生物)	校内の山林を用いた森林生態系における炭素収支の測定とバイオチャー散布における炭素隔離効果の検証
佐々木 希望	都立五日市高等学校	教諭	竹炭・竹酢液づくりを通じた環境学習の開発
清水 加奈	長野県屋代高等学校	実習助手	配合飼料で蓄養されたムラサキウニの生殖巣稔性について
清水 秀文	長野県上伊那農業高等学校	教諭	光強度の違いによるトマトの葉面のクロロフィルおよび果実のリコペン生成への影響調査
高木 雅紀	岐阜県立大垣北高等学校	教諭	地域に生息する希少種『マホロバサンショウウオ』の生活史を最先端の科学技術を駆使して解明し、郷土の自然環境について考える
田中 颯真	長崎県立長崎北高等学校	教諭	長崎県内における生徒参加型の外来生物生息域調査及び GIS を活用した分布マップの作成
富永 英二	福岡県立福岡工業高等学校	教諭	電気に生涯をかけた人々から学んで創る演示実験装置～ストーリーのある電気実験プログラムの創造～

氏名	所属機関	職位	研究題目
那賀 俊明	東京都立葛飾野高等学校	主幹教諭	ポーリングコアを用いた理科地学領域の授業と探究活動
中野 源大	京都府立北稜高等学校	教諭	マイクロスケール実験を活用した環境分析実験のキット化 ～体系的で継続的な環境教育を目指して～
中原 崇史	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	教諭	マイクロチップを使ったオオイタサンショウウオの産卵期の生態研究を通して、地域に生息する絶滅危惧種を守ろう！
西村 秀洋	大阪府立園芸高等学校	教諭	PCR及びDNAタイピングとデータバンク活用による生物種同定法及び環境DNA分析の教材開発
塗田 永美	宮城県多賀城高等学校	教諭	食用に適さないウニの教育的利用価値の創出と教材開発
比留間 葉月	埼玉県立松山高等学校	教諭	プラナリアの種分化について
藤森 明夫	神奈川県立三浦初声高等学校	総括教諭	カゼインプラスチック・ハイドロゲルを利用した農業資材の開発 ～地球環境にやさしい育苗補助資材の開発を目指して～
星原 庸平	京都府立鴨沂高等学校	教諭	フェルミ推定でつかむ定量的な理科授業の研究
細野 護	北海道旭川北高等学校	教諭	モンシロチョウの太陽光利用とその応用
堀内 敬士	広島県立西条農業高等学校	教諭	稲作栽培の副産物を用いたキノコ栽培に関する研究～籾殻や稲藁を利用した菌床栽培～
本多 好	群馬県立太田女子高等学校	教諭	黄色ブドウ球菌の天敵を探る（理科研究部微生物班の活動から広げる探求活動）
松浦 和枝	島根県立浜田高等学校	教諭	ハッチョウトンボ生育環境の解明と保全に向けた取り組み
溝上 豊	宮城学院中学校高等学校	特任教諭	食用廃油の資源化～タンパク質危機の解決に向けての研究～
三村 かおり	親和女子高等学校	教諭	SNP（一塩基多型）診断を利用した肌質に応じた日本酒化粧品の開発
宮崎 一	熊本県立天草高等学校	教諭	高校生が主導する地球温暖化に対して持続可能な地域の創造
向 雅生	福岡県立三池工業高等学校	教諭	X線分析顕微鏡を活用した生物濃縮を視覚的に学習できる教材開発と探究学習への応用
茂木 孝浩	群馬県立富岡高等学校	教諭	赤い羽根の干渉縞を主軸とする問題解決学習プログラムの開発
森 展之	大谷中学校・高等学校	教諭	水中の浮力の起源の分子論的考察
矢野 敬和	桜丘高等学校	教諭	溶液をゲル化した簡易な色素増感型太陽電池の作製
山崎 好一	東京都立府中東高等学校	教諭	生物部で行っている理数教育研究活動（室内における海水魚等の養殖技術の開発研究）
若狭 信次	長野県駒ヶ根工業高等学校	教諭	中高生が自作して制御できるフレキシブル発光デバイスの教材化
渡部 紘幸	松山聖陵高等学校	常勤講師	iPhoneの音声認識を用いた課題研究～ブラックボックス化されているAI～

計 48 件

杏雨書屋研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
石野 智大	明治大学 ELM (法・医・倫理の資料館)	客員研究員	明治後期の医事法制学研究とその展開
河野 俊哉	東京大学 大学院教育学研究科	研究員	「宇田川榕菴 化学関係資料」に関する研究 一 図像科学史の観点から一
田中 純子	練馬区立牧野記念庭園記念館	学芸員	江戸後期から明治期にかけて制作された植物図譜について
時田 紗緒里	日本女子大学 大学院日本文学科	博士課程 後期	近世擬古文の研究
藤本 幸夫	麗澤大学	客員教授	杏雨書屋所蔵朝鮮本研究
松木 宣嘉	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野	博士課程 後期	「大塚修琴堂文庫」「小菅戸文庫」所収の鍼灸書に関する書誌研究
宮川 浩也	宮川漢法堂 みやかわ温泉院	院長	谷野一栢と越前版『俗解難経』の研究
安江 明夫	(元国立国会図書館副館長、 前日仏図書館情報学会会長)		ドドネウス『草木誌』の書誌的研究

計 8 件

2020年度 応募件数・採択件数・採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採 択 率
武田報彰医学研究助成	21	10	48%
生命科学研究助成	174	30	17%
ライフサイエンス研究助成	169	42	25%
ライフサイエンス研究継続助成	8	5	63%
医学系研究助成（がん領域・基礎）	107	43	40%
医学系研究助成（がん領域・臨床）	77	31	40%
医学系研究助成（精神・神経・脳領域）	120	50	42%
医学系研究助成（感染領域）	49	21*	43%
医学系研究助成（基礎）	180	73	41%
医学系研究助成（臨床）	66	28	42%
医学系研究助成（小計）	599	246	41%
医学系研究継続助成（がん領域・基礎）	20	6	30%
医学系研究継続助成（がん領域・臨床）	12	4	33%
医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域）	19	6	32%
医学系研究継続助成（感染領域）	8	3	38%
医学系研究継続助成（基礎）	28	8	29%
医学系研究継続助成（臨床）	14	4	29%
医学系研究継続助成（小計）	101	31	31%
薬学系研究助成	164	42	26%
薬学系研究継続助成	14	5	36%
特定研究助成	40	14	35%
ビジョナリーリサーチ助成（スタート）	356	32	9%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）	21	10	48%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）	11	5	45%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）	7	1	14%
中学校理科教育振興助成	42	22	52%
高等学校理科教育振興助成	93	48	52%
杏雨書屋研究助成	8	8	100%
合計	1,828	551	30%

※採択決定後の辞退2件含む

2020年度来日外国人留学研究者(国別人数)

〈2021年3月31日現在〉

国 別	2020年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	1			1	7名承認、6名次年度繰越
タ イ	8				0	9名承認、9名次年度繰越
フィリピン	8	1			1	9名承認、8名次年度繰越
韓 国	5				0	3名承認、1名辞退、2名次年度繰越
中 国	10	1	1		2	10名承認、9名次年度繰越
インドネシア	8				0	9名承認、9名次年度繰越
ベトナム	6				0	3名承認、3名次年度繰越
7ヵ国 小計	51	3	1	0	4	
上記7ヵ国以外	10	5			5	12名承認、1名辞退、6名次年度繰越
総 計	61	8	1	0	9	

2020年度外国人留学研究者明細

2020/4/1-2021/3/31来日者

氏 名	所 属	研 究 機 関
台 湾		
Chi Hsien Huang 黄繼賢	E-Da hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学教室
小 計	1名	
フィリピン		
Mario Bugay Prado Jr.	Tarlac Provincial Hospital	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
小 計	1名	
中 国		
Hong Li 李宏 2019年度	湖北がん病院 Hubei Cancer Hospital	上尾中央総合病院 肝胆膵疾患先進治療センター長
Chao Sun 孙超	天津第一中心病院 Tianjin First Central Hospital	国立成育医療研究センター 臓器移植センター
小 計	2名	
そ の 他		
Tomisin Happy Ogunwa ナイジェリア	Nagasaki University	創価大学理工学部 生物分子科学
Karim Fifel フランス	International Institute for Integrative Sleep Medicine	筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構 本城研究室
Nahla Mohamed Salah Hamouda エジプト	Ritsumeikan University	立命館大学薬学部 薬学科 病態薬理学研究室
Belgin Sever トルコ	Anadolu University	熊本大学生命科学研究部 生体機能化学共同研究講座
Mohd Faizal Bin Ahmad マレーシア	UKM Medical Center	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
小 計	5名	
合 計	9名	

国別外国人留学研究者数累計

2021/3/31現在
(来日ベース)

国別 \ 期間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾	22	52	113	60	315	1	563	1964
タイ		7	11	121	76		215	1966
フィリピン		6	12	106	35		159	1971
韓国		4	110	19	2		135	1972
中国		32	119	113			264	1981
インドネシア		9	19	60	78	2	168	1982
ベトナム			3	22	50	1	76	1998
アフガニスタン			1				1	
アメリカ		3			1		4	
アルバニア				1			1	
イギリス		1	1				2	
イタリア		1	2	1			4	
イラン			1				1	
インド		2	22	9	1		34	
エジプト			12	3	1		16	
オーストラリア			2				2	
ガーナ			1				1	
カナダ			2	1			3	
ケニア			1	1			2	
コンゴ			1				1	
シリア			1				1	
スイス			1				1	
スウェーデン			2				2	
セネガル				1			1	
チュニジア			1				1	
ドイツ		4	4	3			11	
トルコ			2	4			6	
ナイジェリア			1	1			2	
ニュージーランド				1			1	
ネパール			3	1			4	
パキスタン			3				3	
パラグアイ			1	2			3	
バングラデシュ			8	8	3		19	
ブラジル			2				2	
フランス		2	4	3	1		10	
ベネズエラ			1				1	
ベラルーシ			1				1	
ペルー		1	1	2			4	
ベルギー				1			1	
マレーシア			1	1	1		3	
ミャンマー		1	1	3	3		8	
メキシコ		1					1	
モロッコ			1				1	
モンゴル				1			1	
ロシア		1	1			1	3	
合計	22	127	473	549	567	5	1,743	

2020年度 医学部博士課程奨学研究者一覧

2020年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
友藤 嘉彦	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学
難波 真一	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学
河谷 昌泰	名古屋大学大学院医学系研究科 神経性調節学
鈴木 佑治	名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻生物化学講座分子生物学分野
八尋 貴樹	名古屋大学環境医学研究所 統合生理野
大西 泰地	東京大学大学院医学系研究科 細胞分子薬理学
岡崎 斉	東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻 構造生理学部門
野呂 高之	東京大学大学院医学系研究科 神経生理学
荒木 峻	東北大学大学院医学系研究科 超回路脳機能分野
鈴木 聡志	東北大学災害科学国際研究所 災害感染症学分野
四宮 万里絵	北海道大学大学院医学院 腫瘍病理学教室
新川 幸一郎	北海道大学大学院医学院 生理学講座神経生理学教室
杉山 友貴	九州大学大学院医学研究院 医化学分野
結城 光太郎	九州大学大学院医学研究院 ヒトゲノム幹細胞医学分野

2020年度 海外研究留学者

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
秋山 徹也	東北大学病院 脳神経内科	Stanford University, CA USA Prof. Aaron D. Gitler
今井 崇史	九州大学病院 小児科	University of Cologne, Germany Prof. Manolis Pasparakis
打田 佑人	名古屋市立大学 神経内科	Johns Hopkins University, MD USA Associate Prof. Kenichi Oishi
海野 怜	名古屋市立大学病院 泌尿器科	University of California, CA USA Prof. Marshall L. Stoller
金丸 和正	筑波大学医学医療系 免疫制御医学研究室	Wellcome Sanger Institute, Cambridge UK Head, Sarah Amalia Teichmann
金城 智章	京都大学大学院医学研究科 病態生物医学	The University of North Carolina, USA Prof. Brian Kuhlman
清水 秀幸	九州大学 生体防御医学研究所 分子医科学分野	Harvard Medical School, MA USA Prof. Pamela Silver
原谷 浩司	近畿大学医学部 内科学教室腫瘍内科部門	Dana-Farber Cancer Institute, MA USA Assistant Prof. David A. Barbie
前川 洋	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科	Northwestern University, IL USA Prof. Susan E Quaggin
安間 恵子	慶應義塾大学 大学院医学研究科 微生物学・免疫学教室	Columbia University Medical Center, NY USA Associate Prof. Ivaylo I. Ivanov

II. 処務の概要

2021年3月31日現在

氏名		就任				再任		基本給 (月額)	職名
		就任 年月日	登記 年月日	再任 年月日	登記 年月日	単位：円			
1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 8人 10人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年			
理事 (理事長) 常勤	飯澤 祐史	2017. 6.9	2017. 6.22	2019. 6.7	2019. 6.21	807,000			
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6.14	2013. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21	757,000			
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6.12	2015. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	東北大学 名誉教授 公立刈田総合病院 特別管理者		
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	(一社) 未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役		
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	国立循環器病研究センター 名誉総長		
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	九州大学 名誉教授 聖マリア健康科学研究所 センター長		
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6.12	2015. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	名古屋大学 名誉教授		
理事 非常勤	澁谷 正史	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授		
理事 非常勤	武田 直久	2016. 6.10	2016. 6.21	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	(公財) 発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役		
理事 非常勤	山縣 ゆり子	2019. 6.7	2019. 6.21	—	—	なし	熊本大学 名誉教授 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長		
監事 非常勤	池田 裕彦	2017. 6.9	2017. 6.22	—	—	なし	弁護士		
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6.17	2011. 6.30	2019. 6.7	2019. 6.21	なし	弁護士		

2021年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任 年月日	再任 年月日	職名
評議員	稲葉 カヨ	2018. 6. 8	—	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 監事
評議員	春日 雅人	2010. 12. 1	2018. 6. 8	(公財)朝日生命成人病研究所 所長 国立国際医療研究センター 名誉理事長
評議員	河盛 隆造	2014. 6. 13	2018. 6. 8	順天堂大学 名誉教授
評議員	笹川 千尋	2010. 12. 1	2018. 6. 8	日本生物科学研究所 所長 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 京子	2018. 6. 8	—	株式会社 K&H 代表取締役
評議員	鍋島 陽一	2018. 6. 8	—	(公財)神戸医療産業都市推進機構 理事 先端医療研究 センター長
評議員	名和田 新	2014. 6. 13	2018. 6. 8	九州大学 名誉教授
評議員	平野 俊夫	2018. 6. 8	—	量子科学技術研究開発機構 理事長
評議員	藤吉 好則	2018. 6. 8	—	東京医科歯科大学 高等研究院 特別名誉教授
評議員	本庶 佑	2010. 12. 1	2018. 6. 8	京都大学高等研究院 副院長/特別教授 (公財)神戸医療産業都市推進機構 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010. 12. 1	2018. 6. 8	神戸学院大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項			
	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	8	3,872,000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項	
〈理事会〉	
第42回定時理事会 2020年5月22日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・定時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件
第43回臨時理事会 2020年6月15日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・武田薬品の株主総会の議案について ・報告事項 新型コロナウイルス感染症関連の追加研究助成の検討報告
第44回臨時理事会 2020年11月12日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク新興感染症研究助成プログラム新設の件 ・2021年度事業計画の件 ・選考委員選任の件
第45回定時理事会 2021年3月8日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業計画および2021年度予算の件 ・医学系研究助成（感染領域）選考委員 任期1年延長の件 ・会計監査人 監査報酬改定の件 ・名誉顧問推挙の件 ・臨時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件
〈評議員会〉	
第23回定時評議員会 2020年6月15日 (みなし報告による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業報告および決算内容報告の件
第24回臨時評議員会 2021年3月25日 (みなし報告による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業計画および2021年度予算の件

5. 寄附金に関する事項		
寄 附 者	寄附の目的	寄 附 金 額
坂井印刷他3件	公益事業目的発展のため	260,000

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	173,345,174	117,178,688	56,166,486
未収金	0	633,333	-633,333
前払金	3,000,000	8,000,000	-5,000,000
流動資産合計	176,345,174	125,812,021	50,533,153
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	15,007,044	15,007,044	0
投資有価証券	63,720,867,500	53,381,167,500	10,339,700,000
図書資料	2,927,633,863	2,872,022,383	55,611,480
基本財産合計	66,663,508,407	56,268,196,927	10,395,311,480
(2) 特定資産			
助成基金	16,222,425,383	14,490,986,271	1,731,439,112
杏雨基金	261,263,558	263,333,558	-2,070,000
資産取得資金	241,028,000	215,929,000	25,099,000
寄附者指定特定基金	3,919,786,332	3,657,269,628	262,516,704
建物	119,276,812	125,459,972	-6,183,160
特定資産合計	20,763,780,085	18,752,978,429	2,010,801,656
(3) その他固定資産			
建物	81,645,707	93,818,962	-12,173,255
什器備品	106,890,209	131,992,827	-25,102,618
ソフトウェア	9,794,103	12,016,302	-2,222,199
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	198,380,019	237,878,091	-39,498,072
固定資産合計	87,625,668,511	75,259,053,447	12,366,615,064
資産合計	87,802,013,685	75,384,865,468	12,417,148,217
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,315,585	7,826,547	4,489,038
未払費用	1,541,891	1,325,936	215,955
預り金	2,289,730	1,050,130	1,239,600
流動負債合計	16,147,206	10,202,613	5,944,593
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	9,023,300	7,459,300	1,564,000
退職給付引当金	10,890,000	9,113,000	1,777,000
固定負債合計	19,913,300	16,572,300	3,341,000
負債合計	36,060,506	26,774,913	9,285,593
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	60,996,402,500	50,633,902,000	10,362,500,500
基本財産受取配当金利息	4,253,185,877	3,941,240,853	311,945,024
指定正味財産合計	65,249,588,377	54,575,142,853	10,674,445,524
(うち基本財産への充当額)	(61,210,909,120)	(50,792,797,140)	(10,418,111,980)
(うち特定資産への充当額)	(4,038,679,257)	(3,782,345,713)	(256,333,544)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(5,452,599,287)	(5,475,399,787)	(-22,800,500)
(うち特定資産への充当額)	(16,725,100,828)	(14,970,632,716)	(1,754,468,112)
正味財産合計	87,765,953,179	75,358,090,555	12,407,862,624
負債及び正味財産合計	87,802,013,685	75,384,865,468	12,417,148,217

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,469,301,374	2,644,931,196	-175,629,822
基本財産受取配当金	2,443,224,976	2,618,854,800	-175,629,824
基本財産受取利息	26,076,398	26,076,396	2
特定資産運用益	515,925,047	519,043,760	-3,118,713
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	46,960,967	50,079,680	-3,118,713
受取寄付金	260,000	310,010	-50,010
受取寄付金	260,000	310,010	-50,010
雑収益	4,410,370	2,006,268	2,404,102
受取利息	9,403	6,268	3,135
返還助成金	4,400,967	2,000,000	2,400,967
経常収益計	2,989,896,791	3,166,291,234	-176,394,443
(2) 経常費用			
事業費	2,908,708,611	3,083,330,873	-174,622,262
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
生命科学研究助成金	300,000,000	290,000,000	10,000,000
ライフサイエンス研究助成金	99,000,000	96,000,000	3,000,000
医学系研究助成金	581,000,000	570,000,000	11,000,000
薬学系研究助成金	99,000,000	95,000,000	4,000,000
特定研究助成金	600,000,000	649,800,000	-49,800,000
ビジュアルリサーチ助成金	189,000,000	168,000,000	21,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000	20,700,000	300,000
杏雨書屋研究助成金	4,998,000	5,000,000	-2,000
外国人留学助成金	41,934,258	111,602,856	-69,668,598
武田医学賞褒賞金	40,000,000	40,000,000	0
シンポジウムホスター褒賞金	0	2,500,000	-2,500,000
医学部博士課程奨学助成	180,900,000	183,700,000	-2,800,000
海外研究留学助成	92,800,000	48,000,000	44,800,000
助成金等費用	34,997,681	33,403,898	1,593,783
役員報酬	11,194,960	11,194,960	0
給料手当	35,637,933	42,458,537	-6,820,604
役員退職慰労引当金繰入額	799,640	799,640	0
退職給付費用	1,622,000	1,100,000	522,000
福利厚生費	8,143,097	7,935,228	207,869
会議費	5,817,592	30,579,049	-24,761,457
旅費交通費	9,101,374	66,319,616	-57,218,242
通信運搬費	4,999,839	4,019,657	980,182
減価償却費	47,851,700	48,143,338	-291,638
消耗品費	3,298,943	6,692,675	-3,393,732
修繕費	53,592,011	72,419,364	-18,827,353
印刷製本費	37,547,268	37,523,563	23,705
光熱水料費	1,740,825	2,043,285	-302,460
賃借料	52,653,974	52,106,297	547,677
保険料	5,365,883	7,291,780	-1,925,897
諸謝金	4,383,437	10,294,595	-5,911,158
租税公課	16,000	10,400	5,600
委託費	26,633,956	54,331,414	-27,697,458
広報費	13,000,200	14,127,783	-1,127,583
雑費	678,040	232,938	445,102

管理費	54,867,180	56,644,361	-1,777,181
役員報酬	12,313,915	13,095,915	-782,000
給料手当	19,658,376	18,640,003	1,018,373
役員退職慰労引当金繰入額	764,360	764,360	0
役員退職金	0	100,000	-100,000
退職給付費用	1,175,000	370,000	805,000
福利厚生費	6,808,069	6,791,645	16,424
会議費	538,157	1,928,889	-1,390,732
旅費交通費	531,809	1,836,535	-1,304,726
通信運搬費	435,898	439,783	-3,885
減価償却費	487,558	498,305	-10,747
消耗品費	1,096,098	1,407,648	-311,550
修繕費	444,950	728,310	-283,360
印刷製本費	432,507	359,970	72,537
光熱水料費	1,424,314	1,493,171	-68,857
賃借料	3,016,459	2,918,377	98,082
保険料	132,757	136,570	-3,813
諸謝金	0	48,875	-48,875
会計監査報酬	1,650,000	1,650,000	0
委託費	3,315,264	2,964,514	350,750
雑費	641,689	471,491	170,198
経常費用計	2,963,575,791	3,139,975,234	-176,399,443
評価損益等調整前当期経常増減額	26,321,000	26,316,000	5,000
基本財産評価損益等	-23,456,746	-47,003,748	23,547,002
基本財産評価損益等	-23,456,746	-47,003,748	23,547,002
特定資産評価損益等	1,730,886,820	-3,247,617,306	4,978,504,126
特定資産評価損益等	1,730,886,820	-3,247,617,306	4,978,504,126
評価損益等計	1,707,430,074	-3,294,621,054	5,002,051,128
当期経常増減額	1,733,751,074	-3,268,305,054	5,002,056,128
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	665,000	-665,000
図書資料受贈益	0	665,000	-665,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	333,974	0	333,974
固定資産除却損	333,974	0	333,974
当期経常外増減額	-333,974	665,000	-998,974
当期一般正味財産増減額	1,733,417,100	-3,267,640,054	5,001,057,154
一般正味財産期首残高	20,782,947,702	24,050,587,756	-3,267,640,054
一般正味財産期末残高	22,516,364,802	20,782,947,702	1,733,417,100
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,755,170,000	2,755,170,000	0
基本財産受取配当金	2,755,170,000	2,755,170,000	0
特定資産運用益	102,639	100,666	1,973
特定資産受取利息	102,639	100,666	1,973
基本財産評価損益	10,362,500,500	-18,566,784,500	28,929,285,000
基本財産評価損益	10,362,500,500	-18,566,784,500	28,929,285,000
一般正味財産への振替額	-2,443,327,615	-2,618,955,466	175,627,851
一般正味財産への振替額	-2,443,327,615	-2,618,955,466	175,627,851
当期指定正味財産増減額	10,674,445,524	-18,430,469,300	29,104,914,824
指定正味財産期首残高	54,575,142,853	73,005,612,153	-18,430,469,300
指定正味財産期末残高	65,249,588,377	54,575,142,853	10,674,445,524
III 正味財産期末残高	87,765,953,179	75,358,090,555	12,407,862,624

正味財産増減計算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	26,076,398	0	0	0	0	0	2,388,425,354	2,414,501,752	54,799,622		2,469,301,374
基本財産受取配当金							2,388,425,354	2,388,425,354	54,799,622		2,443,224,976
基本財産受取利息	26,076,398							26,076,398			26,076,398
特定資産運用益	513,050,920	0	0	0	0	2,771,438	44,534	515,866,892	58,155		515,925,047
特定資産受取配当金	468,964,080							468,964,080			468,964,080
特定資産受取利息	44,086,840					2,771,438	44,534	46,902,812	58,155		46,960,967
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	260,000	260,000	0		260,000
受取寄付金							260,000	260,000			260,000
雑収益	4,400,967	0	0	0	0	0	0	4,400,967	9,403		4,410,370
受取利息								0	9,403		9,403
返還助成金	4,400,967							4,400,967			4,400,967
経常収益計	543,528,285	0	0	0	0	2,771,438	2,388,729,888	2,935,029,611	54,867,180		2,989,896,791
(2) 経常費用											
事業費	2,287,641,609	349,986,171	59,566,695	9,397,963	26,523,154	175,591,278	1,741	2,908,708,611			2,908,708,611
武田顕彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ライフサイエンス研究助成金	99,000,000							99,000,000			99,000,000
医学系研究助成金	581,000,000							581,000,000			581,000,000
薬学系研究助成金	99,000,000							99,000,000			99,000,000
特定研究助成金	600,000,000							600,000,000			600,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	189,000,000							189,000,000			189,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000							21,000,000			21,000,000
杏雨書屋研究助成金	4,998,000							4,998,000			4,998,000
外国人留学助成金		41,934,258						41,934,258			41,934,258
武田医学賞褒賞金			40,000,000					40,000,000			40,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				0				0			0
医学部博士課程奨学助成		180,900,000						180,900,000			180,900,000
海外研究留学助成		92,800,000						92,800,000			92,800,000
助成金等費用	24,950,000	1,650,000	2,550,000	0	0	5,847,681		34,997,681			34,997,681
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	10,953,676	9,239,379	1,217,075	1,026,598	1,320,121	11,881,084		35,637,933			35,637,933
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820		799,640			799,640
退職給付費用	645,300	333,500	71,700	61,500	51,000	459,000		1,622,000			1,622,000
福利厚生費	1,992,016	1,112,682	853,721	1,112,682	0	3,071,996		8,143,097			8,143,097
会議費	4,000	1,396,801	3,967,111	0	0	449,680		5,817,592			5,817,592
旅費交通費	103,695	7,269,541	1,163,776	0	0	564,362		9,101,374			9,101,374
通信運搬費	1,218,167	126,896	99,982	55,002	2,281,437	1,218,355		4,999,839			4,999,839
減価償却費	2,962,494	1,881,531	487,555	487,555	487,555	41,545,010		47,851,700			47,851,700
消耗品費	1,378,477	345,255	667,553	182,685	0	724,973		3,298,943			3,298,943
修繕費	0	0	0	0	0	53,592,011		53,592,011			53,592,011
印刷製本費	13,550,626	219,337	2,065,747	20,864	19,031,796	2,658,898		37,547,268			37,547,268
光熱水料費	443,119	237,385	189,908	237,385	0	633,028		1,740,825			1,740,825
賃借料	2,975,339	3,784,450	2,939,398	2,937,389	2,937,593	37,079,805		52,653,974			52,653,974
保険料	5,627	562,981	5,627	5,627	5,627	4,780,394		5,365,883			5,365,883
諸謝金	644,082	885,588	900,820	347,091	0	1,605,856		4,383,437			4,383,437
租税公課	0	0	0	0	0	16,000		16,000			16,000
委託費	14,217,266	2,211,106	1,248,072	2,454,385	172,154	6,330,973		26,633,956			26,633,956
広報費	12,507,500	342,000	62,700	0	0	88,000		13,000,200			13,000,200
雑費	400,225	218,931	24,000	0	1,271	31,872	1,741	678,040			678,040

正味財産増減計算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

管理費									54,867,180		54,867,180
役員報酬									12,313,915		12,313,915
給料手当									19,658,376		19,658,376
役員退職慰労引当金繰入額									764,360		764,360
役員退職金									0		0
退職給付費用									1,175,000		1,175,000
福利厚生費									6,808,069		6,808,069
会議費									538,157		538,157
旅費交通費									531,809		531,809
通信運搬費									435,898		435,898
減価償却費									487,558		487,558
消耗品費									1,096,098		1,096,098
修繕費									444,950		444,950
印刷製本費									432,507		432,507
光熱水料費									1,424,314		1,424,314
賃借料									3,016,459		3,016,459
保険料									132,757		132,757
諸謝金									0		0
会計監査報酬									1,650,000		1,650,000
委託費									3,315,264		3,315,264
雑費									641,689		641,689
経常費用計	2,287,641,609	349,986,171	59,566,695	9,397,963	26,523,154	175,591,278	1,741	2,908,708,611	54,867,180		2,963,575,791
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,744,113,324	-349,986,171	-59,566,695	-9,397,963	-26,523,154	-172,819,840	2,388,728,147	26,321,000	0		26,321,000
基本財産評価損益等	-23,456,746							-23,456,746			-23,456,746
基本財産評価損益等	-23,456,746							-23,456,746			-23,456,746
特定資産評価損益等	1,732,966,180					-2,079,360		1,730,886,820			1,730,886,820
特定資産評価損益等	1,732,966,180					-2,079,360		1,730,886,820			1,730,886,820
評価損益等計	1,709,509,434					-2,079,360		1,707,430,074			1,707,430,074
当期経常増減額	-34,603,890	-349,986,171	-59,566,695	-9,397,963	-26,523,154	-174,899,200	2,388,728,147	1,733,751,074	0		1,733,751,074
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計							0	0	0		0
図書資料受贈益							0	0	0		0
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	333,974		333,974
固定資産除却損									333,974		333,974
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	-333,974		-333,974
当期一般正味財産増減額	-34,603,890	-349,986,171	-59,566,695	-9,397,963	-26,523,154	-174,899,200	2,388,728,147	1,733,751,074	-333,974		1,733,417,100
一般正味財産期首残高											20,782,947,702
一般正味財産期末残高											22,516,364,802
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
特定資産運用益							44,534	44,534	58,105		102,639
特定資産受取利息							44,534	44,534	58,105		102,639
基本財産評価損益							9,282,685,500	9,282,685,500	1,079,815,000		10,362,500,500
基本財産評価損益							9,282,685,500	9,282,685,500	1,079,815,000		10,362,500,500
一般正味財産への振替額							-2,388,469,888	-2,388,469,888	-54,857,727		-2,443,327,615
一般正味財産への振替額							-2,388,469,888	-2,388,469,888	-54,857,727		-2,443,327,615
当期指定正味財産増減額								9,362,330,146	1,312,115,378		10,674,445,524
指定正味財産期首残高											54,575,142,853
指定正味財産期末残高											65,249,588,377
III 正味財産期末残高											87,765,953,179

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	7,459,300	1,564,000	0	0	9,023,300
退職給付引当金	9,113,000	2,677,000	900,000	0	10,890,000

キャッシュ・フロー計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,590,150	2,780,590,148	2
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,420,150	25,420,148	2
特定資産運用収入	517,442,755	519,221,282	-1,778,527
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	48,478,675	50,257,202	-1,778,527
寄付金収入	260,000	310,010	-50,010
雑収入	4,410,370	2,006,268	2,404,102
利息収入	9,403	6,268	3,135
返還助成金	4,400,967	2,000,000	2,400,967
事業活動収入計	3,302,703,275	3,302,127,708	575,567
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,283,887,739	2,329,815,303	-45,927,564
奨学助成事業支出	337,135,768	377,942,773	-40,807,005
武田医学賞褒賞事業支出	58,937,746	65,022,249	-6,084,503
国際シンポジウム事業支出	8,891,735	66,545,451	-57,653,716
本草医書発刊事業支出	25,927,066	22,571,105	3,355,961
本草医書公開事業支出	132,898,610	161,218,443	-28,319,833
公益目的事業共通費支出	1,741	1,680	61
管理費支出	52,637,200	55,108,050	-2,470,850
事業活動支出計	2,900,317,605	3,078,225,054	-177,907,449
事業活動によるキャッシュ・フロー	402,385,670	223,902,654	178,483,016
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	3,287,046,580	815,060,800	2,471,985,780
特定資産普通預金収入	1,607,156,500	400,000,000	1,207,156,500
特定資産投資有価証券償還・売却収入	1,624,278,600	400,000,000	1,224,278,600
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	55,611,480	15,060,800	40,550,680
投資活動収入計	3,287,046,580	815,060,800	2,471,985,780
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	55,611,480	15,060,800	40,550,680
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	55,611,480	15,060,800	40,550,680
特定資産取得支出	3,574,662,284	967,986,360	2,606,675,924
特定資産普通預金支出	1,624,278,600	400,000,000	1,224,278,600
特定資産投資有価証券取得支出	1,607,156,500	400,000,000	1,207,156,500
特定資産資産取得資金取得支出	25,099,000	25,488,000	-389,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	318,128,184	142,498,360	175,629,824
固定資産取得支出	2,992,000	1,149,500	1,842,500
建物購入支出	1,181,400	0	1,181,400
什器備品購入支出	401,500	0	401,500
ソフトウェア購入支出	1,409,100	1,149,500	259,600
投資活動支出計	3,633,265,764	984,196,660	2,649,069,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	-346,219,184	-169,135,860	-177,083,324
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	56,166,486	54,766,794	1,399,692
VI 現金及び現金同等物の期首残高	117,178,688	62,411,894	54,766,794
VII 現金及び現金同等物の期末残高	173,345,174	117,178,688	56,166,486

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ① 其他有価証券 (時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定) によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 ① 建物 定額法によっている。
 ② 什器備品 定額法によっている。
 ③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
 ② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金 預 金	15,007,044	0	0	15,007,044
投 資 有 価 証 券	53,381,167,500	10,362,500,500	22,800,500	63,720,867,500
図 書 資 料	2,872,022,383	55,611,480	0	2,927,633,863
小 計	56,268,196,927	10,418,111,980	22,800,500	66,663,508,407
特定資産				
助 成 基 金	14,490,986,271	1,798,713,457	67,274,345	16,222,425,383
杏 雨 基 金	263,333,558	0	2,070,000	261,263,558
資 産 取 得 資 金	215,929,000	25,099,000	0	241,028,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,657,269,628	318,128,184	55,611,480	3,919,786,332
建 物	125,459,972	0	6,183,160	119,276,812
小 計	18,752,978,429	2,141,940,641	131,138,985	20,763,780,085
合 計	75,021,175,356	12,560,052,621	153,939,485	87,427,288,492

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益及びその他債券の売買によるものであり、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。
2. 特定資産の助成基金の当期増加額は株式の時価評価益であり、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金	15,007,044	(0)	(15,007,044)	(0)
投資有価証券	63,720,867,500	(60,996,402,500)	(2,724,465,000)	(0)
図書資料	2,927,633,863	(214,506,620)	(2,713,127,243)	(0)
小 計	66,663,508,407	(61,210,909,120)	(5,452,599,287)	(0)
特定資産				
助成基金	16,222,425,383	(0)	(16,222,425,383)	(0)
杏雨基金	261,263,558	(0)	(261,263,558)	(0)
資産取得資金	241,028,000	(0)	(241,028,000)	(0)
寄附者指定特定基金	3,919,786,332	(3,919,402,445)	(383,887)	(0)
建物	119,276,812	(119,276,812)	(0)	(0)
小 計	20,763,780,085	(4,038,679,257)	(16,725,100,828)	(0)
合 計	87,427,288,492	(65,249,588,377)	(22,177,700,115)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	46,888,963	119,276,812
その他固定資産			
建物	179,995,183	98,349,476	81,645,707
什器備品	323,341,116	216,450,907	106,890,209
ソフトウェア	56,870,237	47,076,134	9,794,103
合 計	726,372,311	408,765,480	317,606,831

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	2,437,041,816
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	6,183,160
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	102,639
合 計	2,443,327,615

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	117,178,688	現金預金勘定	173,345,174
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	117,178,688	現金及び現金同等物	173,345,174

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
基本財産として受贈された図書資料がある。評価額は665,000円である。	—

財 産 目 録

2021年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			173,345,174
現金	手元保管	運転資金として	21,129
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	4,231,933
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	169,092,112
前払金			3,000,000
前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	3,000,000
流動資産合計			176,345,174
(固定資産)			
基本財産			66,663,508,407
現金預金			15,007,044
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,007,044
投資有価証券 株式	(武田薬品(株)15,306,500株)		63,720,867,500
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	60,996,402,500
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している	54,640,327,500
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,724,465,000
その他債券	第131回利付国債(20年) 第10回利付国債(30年) 第11回利付国債(30年) 第143回利付国債(20年) 第62回利付国債(20年) 第329回利付国債(10年) 第327回利付国債(10年) 第333回利付国債(10年) 第151回利付国債(20年) 第152回利付国債(20年) 第155回利付国債(20年) 第157回利付国債(20年)		291,300,000 111,010,000 283,968,000 175,365,000 102,080,000 255,200,000 142,240,000 250,390,000 451,600,000 112,970,000 154,462,000 393,880,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	2,927,633,863
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業(株) 寄贈 589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業(株) 寄贈 150点	3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
	村上文書	武田家 寄贈 (書状5,000通含) 909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
	宋版 経史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
	中葉大辞典	1999年度購入 5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入 4株23冊	8,925,000
	黄帝内経素問診解他	" 29冊	873,600
	医心方統編	2000年度購入 1冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入 5冊	189,000
	中国本草全書	2001~2002年度購入 411冊	8,908,333
	金陵本 本草綱目	2002年度購入 7	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入 109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	" 20冊2000枚	4,725,000
	HOOKER'S EXOTIC FLORA	" 3冊233枚	892,500
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入 34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	" 1冊	682,500
	統添鴻宝秘要抄拔書	" 1冊	262,500
	江馬榴園書状集	2003年度購入 1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入 21冊	9,450,000
	医方大成	" 5冊	2,100,000
	医林類証集要	" 20冊	4,200,000
	世医得効方	" 20冊	4,200,000

図書資料

植物誌がナテ図書館蔵本ファミリー版	2005年度購入	1冊	1,197,000
補遺雷公炮製便覧	"	13冊	350,000
東洋医学雑誌復刻叢書	"	8冊	257,250
常陸文庫	"	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A.L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
野間玄琢書状	"	1冊	170,000
奈須玄盅・玄竹書状集	"	1冊	420,000
帆足万里書状	"	1冊	252,000
権田直助書状集	"	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
松本文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	"	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	"	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	"	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	"	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	"	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1~3. 1953 Watson ID and Crick FHC他	"	19冊	15,579,900
二宮文庫	"	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月~11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	"	1冊	360,000
ローベル：草本誌	"	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
ショメル：家政事典初版（フランス語）	2010年度4月~11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	"	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	"	1巻	1,260,000
配済録他	"	3冊	1,462,960
医心方提要他	"	13冊	2,276,960
	(以上、公益認定前取得)		
	(以下、公益認定後取得)		
	(公益認定後取得額合計)		885,822,540
方薬順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lennec Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
外科学入門	"	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
師弟問答	"	1冊	4,500,000
曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
合薬直伝集	"	1冊	350,000
岡本玄治書状	"	1部	157,500
方肥剂	"	1冊	340,980
古医書写本	"	9冊	560,980
医学正伝	"	8冊	945,980
證類本草序列	"	1冊	2,250,000
ショメル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
ハットリ：リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
マクネット：自然の教理問答	"	4冊	81,900
バスター：科学の楽しみ	"	1冊	441,000
シェレンベル：植物学入門	"	3冊	126,000
ジャクソン：植物学入門	"	1冊	79,800
デハース：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
楡林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峡山像	"	4幅刻	100,000
浅田栗園先生母堂栗園宛消息	"	4通	85,000
鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
マルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
医学正伝	"	8冊	7,500,000
奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
古文孝経	"	1巻	12,055,970
神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
草之名集 秋之部	"	1冊	175,990

図書資料

新刊 大観本草	"	20冊	1,759,990
日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
察病指南	"	1冊	285,990
意伝普救録	"	1冊	285,990
節斎漫録	"	3冊	2,210,990
大成論抄	"	1冊	340,990
禽獣魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990
医家本草家書状	"	1巻	420,000
大塚修琴堂文庫	"	2985点	139,987,890
中西深斎 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・冒禁本草	"	2冊	9,000,000
素問入式運氣論奥	"	1冊	3,500,000
重修政和經史證類備用本草（卷十五～十七）	"	1冊	252,000
吉雄幸作・俊成書簡	"	1巻	420,000
江馬春齡・蘭斎書簡	"	1巻	330,000
ターヘル・アナトミア	"	1冊	290,200
日本医史学会文庫	"	38点	7,980,500
大阪華岡塾合水堂文庫	"	319点	42,765,760
レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書	"	12冊	525,000
伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書	"	9幅	5,450,000
射駒山親花書画	"	1巻	270,000
蘭畹摘芳草稿	"	1冊	1,700,000
大阪華岡塾合水堂文庫	"	12点	20,422,500
本間玄調肖像	"	1幅	315,000
ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
クルムス「ターヘル・アナトミア」	"	1冊	3,078,000
難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	"	21冊	367,500
二十八宿三微垣並星象畧図	"	1冊	84,000
家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	"	7冊	148,500
解体新書	"	5冊	4,000,000
古文孝経	"	1冊	8,500,000
玉機微義	"	12冊	6,500,000
杉立文庫	"	26点	5,990,560
古訓医伝薬能方法辨	"	5冊	36,750
傷寒論国字辨	"	1冊	31,500
傷寒論辨正	"	1冊	15,750
傷寒外伝	"	1冊	42,000
五書別藪	"	1冊	63,000
傷寒論識	"	6冊	15,750
傷寒論特解	"	1冊	73,500
家刻傷寒論	"	1冊	63,000
傷寒真珠集	"	1冊	73,500
喻嘉言先生傷寒尚論篇全書	"	1冊	63,000
金匱正辨	"	1冊	10,500
傷寒論劉氏伝	"	1冊	15,750
傷寒論撤義	"	1冊	94,500
傷寒論大意	"	1冊	31,500
キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」	"	1冊	997,207
温知堂文庫	"	619点	19,440,000
解体新書	"	5冊	3,591,000
経史證類大観本草	"	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本間玄調宛書簡	2016年度購入	2巻	210,000
千魚一観録	"	1冊	31,500
小曾戸文庫	"	632点	80,935,050
スメリー「産科学解剖図録」	"	1冊	1,404,000
時選読我書捷見	"	1冊	270,000
参製口訣稿本 二種	"	2冊	270,000
宋本素問版心文字録	"	1冊	162,000
遊仙窟	"	1冊	270,000
劉向新序 十巻	"	2冊	432,000
素女妙論	"	1冊	64,800
素女妙論	"	1冊	37,800
黄素之妙論	"	1冊	129,600
黄素妙論	"	1冊	129,600
釋糸付釋麻	"	1冊	210,000
東大寺古文書	"	1幅	105,000
多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
医心方	"	30冊	3,240,000
三医聖画像（三幅対）	"	3幅	54,000
黄帝秘要良方	"	1冊	270,000
扁鵲倉公列伝割解	"	1冊	162,000
傷寒論述義	"	1冊	378,000
栗雅	"	1冊	194,400
新刊京本活人心法	"	1冊	486,000

図書資料	増修無冤録大全	1冊	216,000	
	医学院学範 第一編三卷	3冊	31,500	
	温疫論	2冊	8,400	
	温疫論私評	2冊	36,750	
	華氏解剖摘要九卷	2冊	42,000	
	金鶏医談	1冊	31,500	
	種痘傳習録	1冊	31,500	
	内科新説	3冊	6,300	
	博物新編 三刻	3冊	5,250	
	京都典業寮医師大野家旧蔵資料	一括	840,000	
	杉田玄白肖像画	1幅	20,000	
	神農像	1幅	80,000	
	神農像 附肖像木版画	2幅	150,000	
	ルードヴィヒ「植物学講義」初版	1冊	248,400	
	嘗一学士入余門云々	1軸	550,000	
	伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000
	長井長義朝鮮視察時写真帖	1冊	105,000	
	察病指南 室町中期刊 五山版	1冊	10,800,000	
	羽田文庫	116点	40,503,750	
	察病指南	1冊	126,000	
	養生月覽	1冊	63,000	
	香川修徳書状	1通	30,240	
	富士川游書	1幅	108,000	
	列仙傳巻物 (小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋氏 寄贈	2巻	2,835,000
	神農図 月徳画	2019年度購入	1幅	48,600
	三医神像	1幅	108,000	
	神農像 椽同齊筆	1幅	84,240	
	張仲景像 吉益北洲画并題	1幅	130,600	
	新宮演閣コレヲ病詩	1幅	62,640	
	北山寿安医事消息	1幅	175,987	
	京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	1組	153,986	
	月徳画 三国志治療之図	1幅	175,987	
	ヨンケル「瑞徳草」	3冊	183,600	
	ショイベ「日本における病気の臨床所見」	1冊	64,800	
	ショイベ「日本人の脚氣」	1冊	84,240	
	田代玄快肖像画幅	1幅	28,000	
	増地長喬肖像画幅	1幅	4,400	
	増地長喬肖像画幅	1幅	3,600	
	切紙下巻	1冊	32,000	
	浅田宗伯書簡	1通	220,000	
	頼松庵肖像画幅	1幅	20,000	
	スメリー「産科論」初版	1冊	594,000	
	新刊万病回春	5冊	1,660,983	
	大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	1巻	725,987	
	ジュンベリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	4冊	682,000	
	延寿帯効用略記	1冊	8,900	
	矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	37点	9,555,000	
結髦居別集序	1巻	220,000		
神農像掛軸 (小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋氏 寄贈	4幅	698,250	
各務小木骨	2020年度購入	一括	7,700,000	
カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年	1冊	1,650,000		
イデン刊	1冊	88,000		
椿庭隨筆	3冊	715,000		
古方類按	2冊	220,000		
学晦堂医話	1冊	495,000		
瘍科広要 巻之一	1冊	275,000		
内科開微私評	1冊	385,000		
結髦居別集 巻三・四	1冊	395,980		
医範提綱内象銅版図	1巻	385,000		
病草紙	6冊	1,430,000		
オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻	9幅1冊	4,614,750		
蘭訳版初版 1796-1800年	54点	37,059,750		
丸尾尾池家医学関係資料	1冊	198,000		
矢数文庫				
敦煌莫高窟秘本一神論残巻				
特定資産			20,763,780,085	
助成基金			16,222,425,383	
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	29,954,723	
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	800,000,000	
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,392,470,660	
株式	武田薬品(株) 2,605,356株		10,382,343,660	
公社債			5,010,127,000	
その他債券	第11回利付国債(30年)		177,480,000	
	第137回利付国債(20年)		234,720,000	
	第139回利付国債(20年)		697,560,000	
	第141回利付国債(20年)		235,720,000	
	第148回利付国債(20年)		465,720,000	
	第149回利付国債(20年)		116,590,000	
	第151回利付国債(20年)		338,700,000	
	第337回利付国債(10年)		50,795,000	

	第338回利付国債(10年)		51,045,000
	第152回利付国債(20年)		225,940,000
	第155回利付国債(20年)		110,330,000
	第157回利付国債(20年)		295,410,000
	第159回共同地方債(10年)		400,960,000
	第8回東京電力パワーグリッド債		203,500,000
	第25回東京電力パワーグリッド債		204,980,000
	第39回東京電力パワーグリッド債		102,960,000
	第515回関西電力債		202,020,000
	第484回九州電力債		100,150,000
	第489回九州電力債		402,640,000
	第404回中国電力債		302,160,000
	第227回神奈川県公債		90,747,000
杏雨基金			261,263,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,432,558
公社債 その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	259,831,000
資産取得資金			241,028,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	235,684,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	5,344,000
寄附者指定特定基金			3,919,786,332
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	1,589,901,196
現金預金	法人会計		2,329,885,136
建物	公益目的事業会計		119,276,812
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	119,276,812
その他固定資産			198,380,019
建物			81,645,707
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	15,007,540
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	66,638,167
什器備品			106,890,209
公益目的事業会計			105,693,062
	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	97,753,979
	道修町ビル1F展示室備品	"	5,793,883
	道修町ビル4F 書架	"	2,081,371
	両袖机1台	"	13,064
	サーバー1台	公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。	50,765
法人会計			1,197,147
	サーバー1台	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	721,980
	会議室テーブル・OA収納テーブル・サーバーラック	"	475,167
ソフトウェア			9,794,103
公益目的事業会計	研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	6,887,487
公益目的事業会計	自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。	521,034
公益目的事業会計	外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	1,975,829
法人会計	公益法人会計システム	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	409,753
保証金			50,000
法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計			87,625,668,511
資産合計			87,802,013,685
(流動負債)			
未払金			12,315,585
未払金	有限責任監査法人トーマツ	監査費用未払分	1,650,000
	常勤役員に対するもの	給与未払分	1,564,000
	職員に対するもの	給与未払分	4,101,585
	海外研究留学助成	留学助成金・留学渡航費未払分	5,000,000
未払費用			1,541,891
未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当 福利厚生費未払分	1,541,891
預り金			2,289,730
預り金		住民税の預り金	366,700
		給与・期末手当等 所得税 預り金	1,144,769
		給与・期末手当 社会保険預り金	778,261
流動負債合計			16,147,206
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの	9,023,300
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	10,890,000
固定負債合計			19,913,300
負債合計			36,060,506
正味財産			87,765,953,179

独立監査人の監査報告書

2021年 4月20日

公益財団法人武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ
大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 高 見 勝 文
業務執行社員

<財務諸表等監査>

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2021年3月31日現在の2020年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

2021年5月7日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監事 夏住 要一郎 ㊟

監事 池田 裕彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上